

みんなが住みたい暮らしたい 夢があふれる比也野里

—比延地区まちづくり計画—



令和5年5月
比延地区自治協議会

比延地区まちづくり計画 目次

ごあいさつ ～本計画について～	p.1
1. 比延地区まちづくり計画策定の概要	p.2
(1) 本計画の背景と目的	p.2
(2) 比延地区の現状と計画が目指すもの	p.2
(3) ふるさと夢会議のあらまし	p.3
2. 比延地区まちづくり計画策定の経過	p.4
(0) まちづくり講演会の開催	p.4
(1) 第1回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年7月16日）	p.5
(2) 第2回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年9月3日）	p.5
(3) 第3回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年10月15日）	p.5
(4) 第4回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年12月10日）	p.7
(5) 第5回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年1月27日）	p.8
(6) 第6回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年2月16日）	p.10
(7) 第7回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年3月17日）	p.11
(8) 第8回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年5月13日）	p.12
3. 比延地区まちづくり計画	p.13
(1) キャッチコピー	p.13
(2) みんなで力を合わせて目指す地域の将来像	p.13
(3) みんなで力を合わせて取り組むこと（まちづくり計画）	p.13
(4) まちづくりの進め方	p.15
4. 資料（ふるさと夢会議の記録）	p.16
(1) 第1回（令和4年7月16日） 「まちづくり計画と策定の手順」	p.16
(2) 第2回（令和4年9月3日） 「比延地区のいいところ・悪いところ」	p.17
(3) 第3回（令和4年10月15日） 「地域が担うべき課題と重要度・容易さ」	p.24
(4) 第4回（令和4年12月10日） 「課題解決のアイデア出し」	p.33
(5) 第5回（令和5年1月27日） 「まちづくり計画のアイデアづくり」	p.38
(6) 第6回（令和5年2月16日） 「素案の検討とキャッチコピー」	p.45
(7) 第7回（令和5年3月17日） 「まちづくり計画の進め方」	p.49
(8) 第8回（令和5年5月13日） 「ダイジェスト版の確認」	p.52

ごあいさつ ～本計画について～

比延地区は、播磨風土記の時代から栄えた、自然・歴史・文化に恵まれたところです。比延に住む人々は固い絆で結ばれ、色々な活動に取り組んできましたが、近年、少子高齢化が進み、商店や医院が撤退したことなどにより、買物や通院などに困る人もでてきました。

そのような課題を解決し、比延を自立的・持続的に発展していける地域として次世代に引き継げるよう、新しいまちづくりに取り組む必要があります。

ふるさと夢会議では、地域住民による計8回の意見交換会を通じて、比延地区が10年先に「こうありたい」と願って計画を作成しました。

「みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里」と題し、今後はこの計画に基づきまちづくりを推進していきます。すぐ取り組める計画、達成に少し時間がかかる計画など色々あると思いますが、地域の皆様方の地域を想う気持ちと行動が、これからの比也野里を支えていきます。人口減少は続きますが、一步一步前へ進むしかないと思うので、一緒に頑張りましょう。計画に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。

比延地区自治協議会 会長 藤井 琢己

1. 比延地区まちづくり計画策定の概要

(1) 本計画の背景と目的

比延地区では、平成 17 年 3 月に「第 1 期 比延地区まちづくり計画」を策定し、この計画に基づいて、ふれあい喫茶（へそでちゃ）、交流イベントなどの取組を行ってきました。そして、計画策定から 10 年を経過した平成 26 年 3 月には、第 2 期のまちづくり計画として、「比延地区ふるさと夢プラン」を策定しました。第 2 期まちづくり計画の策定にあたっては、地域住民による意見交換の場である「ふるさと夢会議」を開催し、計画の内容について検討しました。そして、平成 29 年には「比延地区自治協議会」を設立するなど、この計画に基づいたまちづくりの取組を行ってきました。

令和 5 年には第 2 期の計画から 10 年を迎えます。10 年前とは社会情勢も変化しており、比延地区をとりまく現状も変わりつつあります。ここで、第 2 期の計画を見直し次の 10 年にむけた計画、第 3 期まちづくり計画を策定することとしました。

第 3 期の計画策定にあたっては、第 2 期同様、地域住民による意見交換の場である「ふるさと夢会議」を計 8 回開催し、第 2 期のまちづくり計画で達成できたことや、できなかったことを振り返り、新たな 10 年に向け、地域課題をどのように解決していくかを地域の皆で考え、計画としてまとめました。

(2) 比延地区の現状と計画が目指すもの

比延地区は、播磨風土記の時代から栄えた、自然・歴史・文化に恵まれたところで、地域の人々は固い絆で結ばれた地域です。地域の人々は思いやりにあふれた温厚な人柄で、地域で支え合って暮らす文化の色濃く残る、よい意味での「いなか」の風情を残している地域です。

しかし近年、少子高齢化が進み、人口は減少を続けています。また、地域活動の担い手も高齢化が進んでいて、地域の活力が心配な状況になっています。加えて、商店や医院が減って、買い物や通院に困る人も増えている状況です。

少子高齢化・人口減少は全国的な傾向であり、特に西脇市のような地方都市では、人口動態をみても、この状況がすぐに好転することは期待できそうにありません。さらに、地域の人口減少に伴い、市役所の職員も減少を続けており、行政が各地域に対して手厚い手助けをすることに限界が生じることは明らかです。

こうした現状を鑑みると、これからの地域社会では、地域の人口を減らさないような努力も必要ですが、人口が減ることを前提にして、「**人口が減っても地域のひとたちの幸せは減らさない**」というような考え方が重要になってくるでしょう。

そこで、比延地区では、人口が減っても地域に住む住民の皆さんの「幸せが減らない」地域づくりを進める必要があると考え、今回開催した 8 回の「ふるさと夢会議」でも、そういった視点をもとに、皆で今後どのような地域づくりをしていけばよいかを話し合いました。

話し合われたのは、皆の幸せを減らさずに「ここに住みたい・暮らしたい」と思い続けられるような地域づくりをしていくためには、「笑顔で交流」できる地域社会づくりを通じ、地域住民の多くの人の「助け合いにより地域課題の解決」に取り組むことが必要であり、そうした努力によって、「地域外の人たちも関わりたくなる」ような、「夢あふれる元気な地域」を目指すということでした。

(3) ふるさと夢会議のあらまし

本計画は、地域住民の皆さんが「こみせん比也野」に集まって、8回にわたる「ふるさと夢会議」を開催し、そこでの話し合いをもとに作成しました。

以下が「ふるさと夢会議」の開催の概略です。

年月日	テーマ	会議の様子
令和4年 7月16日	参加している皆さんへの「まちづくり講演会」 まちづくり計画策定に向けたスケジュール確認	
9月 3日	比延地区のよいところ・よくないところの抽出 第2期まちづくり計画の評価、取組の方向性確認	
10月15日	比延地区のよいところ・よくないところの抽出 第2期まちづくり計画の評価、取組の方向性確認	
12月10日	比延地区の課題の解決主体による仕分け作業 課題の重要度と、解決のしやすさによる仕分け作業	
令和5年 1月27日	課題解決のためのアイデア出し 第3期まちづくり計画素案作成	
2月16日	第3期まちづくり計画の取組内容についての検討 第3期まちづくり計画のテーマ・キャッチコピーの検討	
3月17日	第3期まちづくり計画案のまとめ まちづくりの取組の実施計画についての検討	
5月13日	第3期まちづくり計画の最終確認	

2. 比延地区まちづくり計画策定の経過

(0) まちづくり講演会の開催

ふるさと夢会議の策定に先立って、令和3年度内に、地域の皆で集まって、兵庫県の地域再生アドバイザーである浅見雅之氏の講演を聞いた。

講演では「まちづくり計画」とはどんなものかということをお話しいただいた。

【講演のポイント】

- ・第2期のまちづくり計画策定から10年が経つので、第3期に向け見直しが必要であること。
- ・比延地区ではこれまで「まちづくり計画」に沿った活動により成果を上げてきたこと。
- ・みんなで考えた計画であれば、みんなが主体的に関わることになるので、できるだけ多くの人が参加して計画をつくるのが大切であること。
- ・人口減少と高齢化の進行をとめることは、比延地区単体では難しいので、人口が減っても地域のひとたちの幸せが減らない社会を目指す方がよいこと。地域みんながニコニコして暮らしたら、高齢化率の上昇も、人口減少もあまり怖くないと思っておく方がよいこと。
- ・地方自治体も今のままではいられないこと。これまでは行政が地域を手厚く支援できたかもしれないが、地域の運営の役割は地元に戻ってくる時期（返却の時代）がくる。その時に強いのは、地域の絆がつよく、共助の精神で地域課題を解決できる地域である。比延地区はその下地として、地域の絆があるのできっと大丈夫だと思えること。

【参加者の感想】

- ・故郷が好きで、住まいが好きで、団地に住んでいた時も田舎の良さを思い出していた。地域のつながりがあって、楽しい毎を送りたい。田んぼが荒れ地になっている。若い人が農業をして、住んでくれることもあるかもしれない。
- ・人口減少と高齢化の話。グラフを見ると大変だと実感
- ・ニコニコと笑顔で暮らせる地域がまちづくりの原点なのかなと思った。
- ・防災の観点からも人口減少になると、団員の減少にもつながる。団員をどう少ない人数でやっていけるか考えていかないといけない。
- ・理想は、講演の通りだと思う。どの程度、実行できるかがカギ。みんなの努力次第
- ・人口が減っても楽しく生きていけそう。草引きが大好き。これだけは誰にも負けない。声をかけてくれたり差し入れをくれたり、人とのつながりができる。
- ・ふるさと夢会議のワークショップに参加したのは初めて。こういうやり方もあるんだと少しわかった気がする。わかりやすい説明でありがたかった。
- ・ちょっとしたことが地域のつながりになっていくのかなあと思った。区長をしているが、気になるところをちょっと草引きをしたりしている。やりすぎると次の区長が出来ないなどと言われる。アクセルとブレーキが難しい。
- ・楽しく過ごしている方が多いので、いいことだと思う。これから支える人が減っていくので

それが問題。返却があるのなら、役所の人達と話し合いをしながら進めていきたい。

- ・行政は、比延地区にもっと自主的にやってほしいと思うかもしれないけれど、やはり一緒に取り組んでいかなければいけないと思う。
- ・長期にわたる課題を将来の姿を描きながら、まちづくりをしていきたい。
- ・比延地区の新しい地縁社会ができれば、良い比延地区ができるのではないかな。

(1) 第1回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年7月16日）

あらためて、兵庫県の地域再生アドバイザーである浅見雅之氏の講演「よりよい地域づくりに向けて」をお聞きし、まちづくり計画の位置付けや、計画の見直しの方法、計画を策定する上での考え方などをお聞きした。

今後の「ふるさと夢会議」をどのように開催して、まちづくり計画をまとめていくかのスケジュールについて話し合った。

できるだけ多くの人たちが関わって計画づくりに参加してもらい、話し合いを楽しみながら、比延を夢のある地域にしていくための計画をつくって行きたい。そのためにも、計画づくりのワークショップなどを開催し、楽しみながら計画づくりをしていこうということを確認した。

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録 (1) 第1回ふるさと夢会議の記録による]

(2) 第2回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年9月3日）

参加者を6つのグループに分け、テーブルごとに話し合う、ワークショップの形式で話し合いを進めた。

比延地区の「よいところ」と「わるいところ」を、できる限りたくさん出すワークショップを通じて、比延地区の「今後も残したい比延地区の資源」と、「できれば改善したい比延地区の課題」を抽出した。

また、第2期まちづくり計画を、あらためて皆で見て、何が実現できていて、何が実現できていないかということ再評価し、第2期のまちづくり計画の内容を、このまま続けるか、続ける必要がないかなどについて話し合いを行った。

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録 (2) 第2回ふるさと夢会議の記録による]

(3) 第3回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年10月15日）

第3回では、第2回で出された「地域の課題」を、自助・共助・公助の視点で分類する作業を行った。地域の皆で協力して課題を解決していくのがまちづくりであるとするならば、個人

の努力によって解決すべき課題である「自助」や、市役所でないと解決できない「公助」は、それぞれに任せてしまって、地域のみんなで解決できる「共助(あるいは互助といってもよい)」について考えることがまちづくりである。共助によって地域課題を解決していく計画を立てれば、それが第3期の「まちづくり計画」になるという理解で分類を行った。

さらに、共助の課題を、その解決の重要性や、解決のしやすさで評価する作業を行った。具体的には、重要性と解決のしやすさの2軸のグラフ上に、共助・互助の課題の位置付けを表現し、私達が解決しようとしている課題の優先度合いや、解決するためにかかる労力などについて考えた。

まちづくりでは、解決が困難な課題から取り組むと、取組が途中で挫折しやすいため、解決しやすい課題がから取り組むのがコツといえる。ただし、解決はしやすいけれど、地域の皆にとってあまり重要でないものについて取り組むのは、取組のモチベーション維持が難しい。

そこで、地域にとって重要でかつ、解決しやすい課題を見つけて、そこから課題解決をしていくことが重要となる。評価作業によって「課題解決の取組の優先順位」がなんとなく見えてきた。

【優先順位の高い「重要で解決が難しくなさそうな地域の課題」の例】

- ・一人何役もしている状態はよくない。
- ・皆が高齢化してきて、草刈りが大変になってきている。
- ・転居してきた人が、地域内でどんな行事があるのかを知る機会がない。
- ・街灯が足りなくて夜道が暗いところがある。
- ・有害獣がいる。獣害対策が大変である。
- ・自治防災組織がない。
- ・観光資源がない。
- ・お店が少ない。スーパーがない。
- ・ゴルフ場が多いが、地域との協働ができていない。
- ・行事に参加する人が少なくなっている。
- ・放棄田が増えてきている。

【皆が評価している「地域で重要で課題解決につながっているもの」の例】

- ・住みやすい。
- ・へそ祭りや花火があって夏のイベントはなかなかよい。
- ・地域が落ち着いている。
- ・協力的な人が多い。
- ・人情味がある。
- ・安全である。
- ・優しい子どもが多い。
- ・空気おいしい。自然が豊か。緑が多い。
- ・手作り野菜が美味しい。
- ・皆が顔見知りで親しみやすい。
- ・地域内で仲間意識が高い。
- ・魅力的な人が多い。
- ・移動販売がよい。
- ・土地が広い | 田畑が多い。

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録(3)第3回ふるさと夢会議の記録による]

(4) 第4回「ふるさと夢会議」の開催（令和4年12月10日）

第4回の冒頭では、参加者の皆さんの頭をやわらかくし、アイデアができるだけ出やすい状態をつくるために「ブレインストーミング」の練習を行った。

アイデアを出す時には、どんなアイデアでもいいのでたくさん出すことが重要で、「そんなの無理だよ」とか「できっこない」などと言う人がいるとアイデアが出にくくなるということを学び、誰かの意見を否定せず、誰かの意見に便乗しながらたくさんアイデアを出し、アイデアがたくさん出てから「できる・できない」を考えた方がいいということ、皆で実感した。

練習のあとは、チームごとに、前回皆で考えた「優先順位の高い」課題について、その課題を解決するためのアイデアをたくさん出す作業を行った。

例えば「スーパーがない」などの課題について、解決のアイデアをいきなり出そうとすると、スーパーを作ることだけがアイデアになってしまうが、最初に「スーパーがない理由・原因は何か」ということを考え、その理由・原因をなくすためのアイデアを出すようにすると、課題解決のアイデアの幅が広がる。

そこで、すべての課題について、その理由・原因を考えた上で、その理由・原因をなくすためのアイデアをたくさん出すことにした。

参加者の皆さんからは、とても多くのアイデアが出たため、アイデアを選別するために、どのアイデアが魅力的か、どのアイデアであれば実行してみてもよいと考えるかを、参加者それぞれが評価して、それぞれのアイデアに投票することとした。

【皆さんの票を集めた課題解決のアイデアの例】

- ・「特産品がない」という課題に対して「高くても良質な品をつくる」
- ・「協力的な人が多い」魅力を活かすアイデアとして「自分たちで働く場所づくり」
- ・「若者や子どもが少ない」という課題の理由として「仕事がない」が上がったため
→みんなで会社を作るというアイデア
- ・「手作り野菜がおいしい」という魅力を活かすアイデアとして「大都会で販売会を開催」など、独創的なアイデアが出た。

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録(4) 第4回ふるさと夢会議の記録による]

(5) 第5回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年1月27日）

第5回は、第4回で出たたくさんの「課題解決のアイデア」を整理したのを見ながら、地域の皆が「本当に解決したい課題」とはどんなものなのかについて話し合いを行い、まちづくり計画の内容についての意見を出し合った。

当日出た意見のまとめ（抜粋版）

●基本的な考え方

人口減少社会にあって元気なムラ、地区づくりをしていこう

●地域内交流・コミュニティ再生のための取組

世代間交流を促進する。

コミセンの交流プログラムの情報を発信する。[参加者を増やす]

月1回困った事を話し合う会を設ける。なんでも話し合う会の開催

○高齢者の暮らし支援・互助の仕組み

買い物バスの運行。（あらかじめ日を決めて乗り合いで買い物に出かける）

○スポーツ・健康増進

合同運動会の開催

西光寺山・城山のハイキング道を整備

地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」を作る

○趣味・文化・交流の場の形成

趣味の作品展（文化祭） | 将棋教室をつくる

季節ごとに家庭菜園セミナーを開催する | コミセンでジビエ料理会を開催する

●地域振興のための取組

○農業・農地の維持

休耕農地を利用して貸し農園を作る（野菜作り指導） | 町外及び若者に農地を貸す
休耕田をまとめて集団農場として活用する

農業に興味を持つ若者を中心とした組織づくり（高齢者によるサポート）

新しい特産品をつくる | 野菜の無人販売所をつくる | 販路を地区外に求める |

農産物の加工、作物造りの指導会を行う | 休耕田を果樹園に（地域で果樹園経営）

農業で生計を立てられるような仕組みを作る

○観光客の誘致・へそ公園等の活用

比延地区のマップづくり [公園・釣り場・登山コース・食事処などを入れる]

へそ公園・テラドーム・岡野山美術館が有効に活用されるよう比延地区から発信 (SNS の活用)

(へそ公園に大型遊具を設置してもらえるように市役所に要望する)
地域住民のいこいの場、子ども達の遊び場として活用をすすめる

他地域から来た人も楽しめるような工夫 | キャンプ地の PR

休耕田を使ったドローン飛行場をつくる

○移住・定住・若者の起業の促進

空き家を活用し移住者受け入れを進める
起業したい人に土地を提供するシステムをつくる

○少子・高齢・晩婚化対策

出会いの場・お見合いパーティーを開催する
(子育て支援策について西脇市にアピールしてもらう)
子育てに魅力あるまちづくり [ボランティア・塾 (学習/ピアノ/そろばん)]

○地域内の移動手段を守る

JR 加古川線の利用促進について考える
むすブン・おりひめバスの利用を進める

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録 (5) 第5回ふるさと夢会議の記録による]

(6) 第6回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年2月16日）

第6回では、アドバイザーが前回の皆さんの意見をまとめて作成した第3期まちづくり計画素案をもとに話し合いを行った。

提示されたまちづくり計画素案

●地域内交流・コミュニティ再生のための取組

○交流の促進のための取組

コミセンの交流プログラムを Facebook・Instagram で発信する

○高齢者の暮らし支援・互助の取組

○地域内外の住民のスポーツ振興・健康増進の取組

比延地区のトレッキングコースを整備・充実化して健康づくりを促進する
地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」を作る

○趣味・文化・集い場形成の取組（コミセンでの活動企画）

比延地区大文化祭を開催する
子ども達が集えて楽しめるプログラムを企画・開催する
将棋教室を運営する（教え教えられる地域内カルチャーセンターの取組）
料理したジビエ料理を地区外に販売

○防犯・防災・安心安全な地域づくりの取組

〔防犯〕防犯カメラの増設を進める
〔消防〕消防自動車の分団内での相互活用を進める

●地域振興のための取組

○空き家の活用

空き家を有効活用する仕組みをつくる〔取組主体〕

○農業・農地の維持

休耕農地を利用して貸し農園を作る（野菜作り指導） | 町外及び若者に農地を貸す
竹林の整備 | 竹をチップにして肥料として活用する
野菜の無人販売所をつくる
比延地区の特産品を生み出す会を立ち上げる

○観光客の誘致・へそ公園等の活用

へそ公園一体を比延地区でプロモーションする（へそ公園の拡充は市に要望）

○移住・定住・若者の起業の促進

空き家を活用し移住者受け入れを進める
起業したい人に土地を提供するシステムをつくる

○少子・高齢・晩婚化対策

出会いの場・お見合いパーティーを開催する
（子育て支援策について西脇市にアピールしてもらう）
子育てに魅力あるまちづくり〔ボランティア・塾（学習／ピアノ／そろばん）〕

○地域内の移動手段を守る

JR 加古川線の利用促進について考える
むすブン・おりひめバスの利用を進める

【まちづくり計画素案に対して皆さんから出た意見】

●交流の促進のための取組について

→西脇から歩いて帰る人がいて、こうした人達の手助けをする方法が必要

●高齢者の暮らし支援・互助の取組について

●趣味・文化・集い場形成の取組について

→文化祭について記載。文化的な趣味サークルを中心に活動している

「こみせんまつり（11/3）」は、双葉小学校にも参加を呼びかけたい

「万能たれ比也野」は、神戸市元町の「元町マルシェ」でよく売れた。もっと売りたい。

→小学校で鹿肉カレーをして評判になった。ジビエ料理などの研究も進めたい

獣害→捕獲→ジビエ料理。ストーリーがあることが大事。

●J R沿線の地域に呼びかけ、J R加古川線の存続を図りたい

→へそ公園の活用と合わせて考えると、より効果的かも知れない。

●空き家を活用して都会から人を呼ぶNPO 法人の設立を検討中

さらに第6回では、計画のキャッチコピーはどのようなものがよいかについても話し合い、投票を行った。

【もっとも多く皆さんの意見をあつめたキャッチコピー案】

「みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里」（11票）

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録（6）第6回ふるさと夢会議の記録による]

(7) 第7回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年3月17日）

第7回では、前回に概略がまとまったまちづくり計画について、その計画の実行時期について話し合いをおこなった。話し合いをした後、計画のそれぞれの項目について、その実行が「すぐできる」か「時間がかかる」か「かなり大変」かを、皆がそれぞれ評価する作業を行った。

同時に「私自身が頑張りたい」と思えるものについても投票を行った。

その結果は写真の通りとなり、これをもとにまちづくりの進め方をまとめることとした。



[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録 (7) 第7回ふるさと夢会議の記録による]

(8) 第8回「ふるさと夢会議」の開催（令和5年5月13日）

第8回は、日程調整等の関係で、年度をまたいでしまったが、皆さんの意見をまとめた、第3期まちづくり計画の素案を皆で見て、文言のチェックなどを行い、まちづくり計画の完成とした。

[詳細は4.資料編 ふるさと夢会議の記録 (8) 第8回ふるさと夢会議の記録による]

3. 比延地区まちづくり計画

(1) キャッチコピー

キャッチコピーは、第6回で提案された案の中で、圧倒的に皆さんに支持を受けた以下のものとした。

みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里

(2) みんなで力を合わせて目指す 地域の将来像

これまでの議論を経て、皆の幸せを減らさずに「ここに住みたい・暮らしたい」と思い続けられるような地域づくりをしていくためには、「笑顔で交流」できる地域社会づくりを通じ、地域住民の多くの人々の「助け合いにより地域課題の解決」に取り組むことが必要であり、そうした努力によって、「地域外の人たちも関わりたくなる」ような、「夢あふれる元気な地域」を目指すのがよいという考えから、計画全体を3つに分類したものに表題をつけ、これを「みんなで力を合わせて目指す地域の将来像」とした。

地域の将来像として掲げたのは以下の3点である。

多くの人たちが**笑顔で交流**できる地域を目指す

多くの人々が、**助け合い**により**安心**して暮らせる地域を目指す

地域外の人たちも**関わり**たくなる**元気**な地域を目指す

(3) みんなで力を合わせて取り組むこと（まちづくり計画）

第3期まちづくり計画の内容として、これまで地域の皆で考え、提案してきたことを「みんなで力を合わせて取り組むこと」という形で、3つの将来像ごとにまとめ、まちづくり計画とした。

その詳細は以下の通り。

多くの人たちが笑顔で交流できる地域となるために

①交流の促進のための取組

- ・多様な参加者を得るため、こみせんの交流プログラムを SNS 等で発信する

②地域内外の住民のスポーツ振興・健康増進の取組

- ・比延地区のトレッキングコースを整備・充実化して健康づくりを促進する
- ・地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」をつくる

③趣味・文化・つどいの場形成の取組（こみせんでの活動企画）

- ・小中学校とも連携した、比延地区の「大文化祭」を開催する
- ・子どもたちが集えて楽しめるプログラムを企画・開催する
- ・将棋教室などを運営する（教え教えられる地域内カルチャーセンターの取組）
- ・調理したジビエ料理を地区外に販売（鹿肉バーベキューなど）

みんなの助け合いにより安心して暮らせる地域となるために

①高齢者の暮らし支援・互助の取組

- ・車を運転できない高齢者等の移動を手助けする手段について考える

②防犯・防災・安全安心な地域づくりの取組

- ・防犯カメラの増設を進める
- ・消防自動車の分団内での相互活用を進める

地区外の人たちも関わりたくなる元気な地域となるために

①観光客の誘致・へそ公園等の活用

- ・へそ公園一体を比延地区でプロモーションする

②移住・定住・起業の促進

- ・空き家を活用し移住者の受け入れを進める
- ・移住して起業したい人に場所を提供する仕組みをつくる

③少子・高齢・晩婚化対策

- ・出会いの場づくり、お見合いパーティー等を開催する

④空き家の活用

- ・空き家を有効活用するプロジェクトチームを立ち上げる

⑤農業・農地の維持

- ・休耕農地を利用して貸し農園を作り（野菜作り指導）町外及び若者に農地を貸す
- ・竹林の整備 | 竹をチップにして肥料として活用する

- ・野菜の無人販売所をつくる
- ・比延地区の特産品を生み出すプロジェクトチームを立ち上げる

⑥地域内の移動手段を守る

- ・JR加古川線の利用促進について考える
- ・むすブン・おりひめバスの利用を進める

(4) まちづくりの進め方

まちづくり計画の内容は多岐にわたるため、一度にたくさんの取組をするよりも、長期計画で取り組む必要がある。取組やすさや、取り組む主体の多さなどに応じて、計画的に進めていくことにし、以下のように長期的に取り組むこととした。

重点的に取り組む項目	短期 (1～3年)	中期 (4～6年)	長期 (7年以上)
交流促進のための取組			
地域内外の住民の スポーツ振興・健康増進の取組			
趣味・文化・集い場形成の取組 (こみせんでの活動企画)			
高齢者の暮らし支援・互助の取組			
防犯・防災・安心安全な 地域づくりの取組			
観光客の誘致・へそ公園等の活用			
移住・定住・起業の促進			
少子・高齢・晩婚化対策			
空き家の活用			
農業・農地の維持			

 色の濃いものほど、ふるさと夢会議メンバーの取組意欲が強いもの＝より実現したいものを示します

4. 資料 ふるさと夢会議の記録

(1) 第1回ふるさと夢会議の記録（令和4年7月16日 こみせん比也野）

- ・ 講演「よりよい地域づくりにむけて」

講師：浅見雅之（合同会社人・まち・住まい研究所）

1. 会長あいさつと自己紹介

- ・ 想いがそれぞれ違う中で、取組みやすいことからやっていきたい。
- ・ 西脇市の中では、前を走っている。みんなが同じ方向を向いていることは感じている。想いを共有してやっていけたら良い結果が見えてくると思っている。
- ・ みんなで助け合って、支えあい、よい比延地区でありたいと思っている。
- ・ 全員で自己紹介

2. 講演「よりよい地域づくりにむけて」 浅見雅之

- ・ これから人口が減る中で、人口が減ることを前提にした地域のあり方を考える必要がある。高齢化は問題ではない。人口が減っても高齢者が増えても、みんながニコニコ暮らしていけたらそれで OK。人口が減っても幸せな社会をつくるという発想の転換が必要。そのためには、女性や若者を巻き込んでできるだけ意見を聞くことが大事
- ・ まちづくりとは「地域の課題を解決する取組の総称」であり、「長期にわたる自分たちの取組」である。
- ・ 誰もが自由に発言でき、誰からも怒られない会合が続けられる地域は長続きする。そこを目指そう。

3. 地域のまちづくり計画策定の手順

- ・ 多くの人たちに関わって計画作りに参加してもらおう。話し合いを楽しんでもらえるといい。ワークショップやアンケートができればいい。
- ・ 進め方
 - ①前の計画の見直しをする（振り返る）
 - ②新しい地区の課題を洗い出す。魅力を洗い出す
 - ③「こんな比延にしていきたい」を考える
 - ④みんなのできることは何かを考える
 - ⑤ふるさと夢プランをまとめる→皆さんにお返りする



会議の様子

(2) 第2回ふるさと夢会議の記録（令和4年9月3日 こみせん比也野）

1. 会長あいさつと自己紹介

- ・ テーブルをA～Fの6つに分けて、テーブルごとに話し合う。

2. 浅見より

○まちづくり計画の見直しをする

- ・ 皆さんで知恵を絞って、よりよい比延のために考えていきましょう。

○前回の振り返り

- ・ 比延地区は、西脇市の中でもちょっと田舎で、なんとなく昔から地域の人付き合いがあって、地域内のコミュニケーションが都会より強いのではないか。
これから先、比延のような地域が生き残れると思う。
- ・ 日本全国で人口が減り始めている。比延だけが人口が増えるという考えはない。
人口が減ると市役所職員も減っていくため、地域の世話ができなくなってくる。
地域の困りごとはなるべく地域で解決することが必要になってくる。
自治会があり、顔と名前が一致する地域は、協力体制がとれる。
- ・ 地縁社会をひきずっているとしんどい。新しい地縁社会が必要
誰が何を言っても怒られない、言いたいことが言える地域が生き残っていける。
これから皆さんの新しいネットワークを作り直すことが必要
- ・ 大事だと思うところをまちづくり計画に書いておこう。
計画には、できないことは書かず、できることだけを書いていこう。

3. 現在の計画の検証

- ・ 現在の計画を評価し、これから10年の計画で継続するかどうかを考える。

○A班の発表

- ・ いろいろな声があってできたことがある。
- ・ 主体的に自治協がやっているかどうか難しい。

○B班の発表

- ・ 一生懸命活動しているが、役員が進めなければ難しいものもあるのではないか。
- ・ 空き家など、企業などにアピールしたらいいのではないか。

○C班の発表

- ・ イベントも一生懸命やっている。
- ・ 今の状態を続けていくには、世代交代が必要だ。
- ・ 移動販売は、助かっている家があると思う。続けてもらいたい。
- ・ 送迎サービスはできていない。
- ・ 花はまあまあできている。
- ・ 空き家は上手に活用できたらいい。

○D班の発表

- ・ 若い人に知ってもらうことが必要

○E 班の発表

- ・ 外に発信することがあまりできていない。
- ・ 広報しすぎると人が来すぎて困ることもある。
- ・ 企業からお弁当の注文をいただいたりしてうまくいっている。
- ・ いちごジャムは、がんばって販売している。
- ・ 辞められた区長が、しんどいところをわかっているのを助けてくれる。

○F 班の発表

- ・ 階段が急、2階が使われていない。
- ・ 農会、市との役割分担が必要
- ・ 定住：若い人が魅力を感じるような新しい取組でないと、なかなか進まないのでは。

○浅見より

- ・ 誰かがしんどい思いをしてやっている事業は続きにくい。
- ・ 100人が1ずつやると続けられる。
- ・ 「何のために」を考えて発信をすることが大事。
- ・ 市役所が引き受けてくれたことがある。「むすブン」「めぐリン」
- ・ U・Iターンを受け入れるには、覚悟が必要。

4. 新しい計画の最初の検討

① 比延地区のいいところ、わるいところ（別紙）

② 以前の計画を現在の視点で評価（別紙）

それぞれについて達成度を評価、今後続けるかやめるかを現時点で判断。



① 比延地区のいいところ、わるいところ

A チーム

いいところ

- ・ ホタルがいっぱい 乱舞
- ・ 違う名字の家が多い
- ・ 日本一の人がいる
- ・ 古い神社がある
- ・ 水路がきれい (鹿野町)
- ・ 山 (緑) が美しい
- ・ 城山がきれい
- ・ すてきな女性がいる
- ・ 自然豊か
- ・ 犯罪が少ない
- ・ ため池をもっと PR
- ・ 美しい川を PR (泳げる川に)
- ・ いい意味でおせっかい
- ・ やさしい
- ・ テレビ中継をするゴルフ場 2 つ
- ・ 人が少ない 空いている
- ・ あいさつができる
- ・ 子どもの挨拶が素晴らしい
- ・ 子どもがやさしい
- ・ 挨拶がよい
- ・ 野菜物の割合がよい
- ・ 丹波篠山に近い
- ・ 三田市・丹波市にも近い
- ・ 運動会は地域みんなで参加する

わるいところ

- ・ ローソンが遠い
- ・ 神社の屋根が落ちそう
- ・ 地域で活躍している人にスポットライトを
- ・ 害獣対策が大変
- ・ 道が 1 本しかない (道が閉ざされると・・・)
- ・ 危ない道路が一部ある
- ・ 大橋に歩いて渡るのが怖い
- ・ 年寄りの顔がかたい
- ・ 避難場所が遠い
- ・ 地区外の人への受け入れが悪い
- ・ 役員・委員はもっとシェアすべき 一人何役もは×
- ・ 若者の結婚が少ない
- ・ 路上駐車が目立つ
- ・ 犬のフンが多い
- ・ 鹿が多い
- ・ (散歩しても) 人がいない
- ・ 若い人が少ない
- ・ 丹波篠山へトンネルを

B チーム

いいところ

- ・ 国道に近い
- ・ ゴルフ場が多い
- ・ 車の所有率が高い
- ・ 播州織
- ・ 移動販売が良い
- ・ へそ公園の開発 全国の人が遊びに来たくなるような場所 インスタ映えスポットになる
- ・ お米がおいしい
- ・ 田畑が多い
- ・ 土地が広い
- ・ 駐車場がただのところが多い
- ・ 他の地区と比べて仲間意識が強い
- ・ 近隣の交流が盛ん
- ・ 放棄田が増えている 貸し農園向き
- ・ 緑が多い

わるいところ

- ・ 不便である
- ・ コミセンへの道が狭い
- ・ 交通が不便 公共交通機関が少ない
- ・ 飲食店が少ない
- ・ お店が少ない
- ・ 無医町である
- ・ 子どもの遊び場が少ない
- ・ 若者・子どもが少ない
- ・ 若者が少ない
- ・ (役員となれば) 多忙である
- ・ 自治防災組織がない
- ・ 高齢化
- ・ 特産品がない
- ・ 観光資源がない
- ・ JR がなくなりそう
- ・ 高齢者の交通手段が少ない
- ・ ホテル・お店など観光 (資源) を盛んにする資源がない
- ・ 比也野の放送が好ましくない 煩わしい
- ・ 法の縛りが多い
- ・ (公民館以外) 公共施設がない
- ・ 草刈りがかなりしんどい

C チーム

いいところ

- ・ 都市部へ1時間くらいで行ける
- ・ 子どもがよく挨拶をしてくれる
- ・ 老人会の人をよく声を掛け合っている 誘い合っている
- ・ 比延の子ども達の素直な心
- ・ 人情味がある
- ・ 田園風景がのどか
- ・ 自然が豊かです
- ・ ホタルが多い
- ・ 町内の住民同士が仲が良い
- ・ 若い人の仲間意識が良い
- ・ 消防団がまとまっている
- ・ 見守り隊の人に感謝
- ・ 公民館が使いやすい
- ・ 子どもの挨拶がよい

わるいところ

- ・ 店がない
- ・ 店が近くにない
- ・ 犬のフンが落ちている
- ・ 街灯が少ない
- ・ 一人暮らしの方が多い
- ・ 就職で他府県への移動が多い
- ・ 以前から住んでいる人はいろいろ分かっている事が多いが他府県くらいの地域から来た人達は比延で行っている行事をあまり知らない
- ・ 有害獣がいる
- ・ 有害鳥獣が多い
- ・ あらいぐまが多い
- ・ 町内の草刈りが多すぎる
- ・ 鹿野町の旭商会から塚口へ行く道のカーブが危険
- ・ 花火大会等の交通整理
- ・ 道が狭い
- ・ 上比延町の道幅が狭い
- ・ 池が多い
- ・ 町民が高齢化のため草刈りが大変
- ・ 道横の雑木、草が交通へ影響している

D チーム

いいところ

- ・ 郷土愛
- ・ 静か
- ・ 子どものあいさつが良い
- ・ 子どもが仲良し
- ・ 子どもが良い子が多い
- ・ 最近若い人のIターンがあった
- ・ 多くの人が協力的
- ・ 住みやすい
- ・ みんな知り合い
- ・ 近隣の人と話がしやすい
- ・ 空気がキレイ
- ・ 山の緑が美しい
- ・ 自然が豊か
- ・ 水がキレイ
- ・ 野菜や米がおいしい
- ・ 夜空がきれい
- ・ 空気がきれい

わるいところ

- ・ 獣害が増えた
- ・ 放棄田が増えた
- ・ 休耕田が多い
- ・ 独身者が多い
- ・ 子どもが少ない
- ・ 若者が少ない
- ・ 若者の地域離れ
- ・ 一人暮らしの老人が多い
- ・ 年配二人暮らし、一人暮らしが多い
- ・ 買い物場所が遠い
- ・ 働く場所が少ない
- ・ 町の行事に若い人が出なくなった
- ・ 町の行事が困難になってきた
- ・ 行事に参加する人が少ない
- ・ 空き家が増えすぎてくる
- ・ 草が伸びすぎて交通に悪

E チーム

いいところ

- ・ 人がいい
- ・ ゴルフ場が近い・多い
- ・ JRがある
- ・ 自然豊か
- ・ 協調性はある責任感もある人が多い
- ・ 車があれば市街地に近い
- ・ へそまつり・花火もあって夏のイベント最高！
- ・ ウォーキングしやすい
- ・ 子どもにはいい環境
- ・ 空気がキレイ
- ・ 自然が美しい
- ・ 自然が多い
- ・ 自然が豊か
- ・ 騒音がない
- ・ (近所の人から) 野菜がもらえる
- ・ 子どもの友達(同級生は)みんな知っている(ママ友もできる)

わるいところ

- ・ 鹿野大橋に歩道がない
- ・ 道が狭い
- ・ 車が無いと不便
- ・ 通学路が危ない所が多い
- ・ 空き家が多くなっている
- ・ 自分のことしか考えられない人が増えている
- ・ JRが赤字路線で廃線を検討している
- ・ 若い人が住宅を確保できる対策
- ・ 田畑の獣害が多い
- ・ 自分の財産が管理できない山林
- ・ 野生動物の出現がある(キツネ)
- ・ 地区にお店がない(スーパー・ドラッグストア)
- ・ 子どもが少ない
- ・ 雑草が伸びるのが早い(道路脇)

F チーム

いいところ

- ・ ゴルフ場が多い
- ・ ゴルフ場が3つもある
- ・ 自然が豊か
- ・ 空気がおいしい
- ・ 家庭の教育力が高い
- ・ 災害が少ない
- ・ みんな顔見知りで親しみやすい
- ・ 安全である
- ・ 同級生がたくさんいる
- ・ 涼しい
- ・ やさしい子どもが多い
- ・ 地域が落ち着いている
- ・ 手作りの野菜がおいしい
- ・ 協力的な人が多い
- ・ 人情味が良い！

わるいところ

- ・ スーパーがない
- ・ 若者が少ない 高齢者が多い
- ・ 道が狭い 旭商会→上延町の間
- ・ 活性化があまりない
- ・ お店がない
- ・ 忙しすぎる人が多い

② 以前の計画を現在の視点で評価

基本方針・施策テーマ 確認シート

1. ふれあいの比延づくり

取組の方向性		達成度	今後は？			備考
			このまま続ける	やめる	より充実させる	
より開かれたコミュニケーションづくり 多様な交流プログラムづくり	全期	4.2	1		5	<ul style="list-style-type: none"> ・期待 ・コロナでできなかつたことも多いが… ・施設、設備が狭い。広い部屋が2階にしかない。使い勝手が悪い ・若い世代にながら必要あり
	全期	4.1	5		1	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人も ・今の状態をどう保っていくか（人材）

2. 支えあいの比延づくり

取組の方向性		達成度	今後は？			備考	
			このまま続ける	やめる	より充実させる		わからない
買い物・送迎支援	全期 案1	4.7	2		4	<ul style="list-style-type: none"> ・人数を増やす 	
		1.7		1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・むすブン・めぐリンのサービスにつながつた ・むすブン・めぐリンを市がやっている ・市の送迎を活用 	
	4.3	3			3		
	全期 案2	1.1	2			2	<ul style="list-style-type: none"> ・あれば良いが運転手の問題 ・むすブン、めぐリンを市がやっている
		1.9					<ul style="list-style-type: none"> ・企業との情報の共有、地区での掌握 ・各町での取組はできているが、自治協としてではない ・農会がやっている（レンジ、ひまわり）種が手に入らない（予算） ・1回だけしました ・各町での取組はできているが、自治協としてではない ・町、自治協、市としての取組がわかりにくい ・各町、農会に ・各町まかせ ・空き家対策
中後期	2.0	2		1	2		
	1.7	1	1		2	<ul style="list-style-type: none"> 2-⑦ 荒れた田畑の管理・活用・獣害対策、空き家の情報管理と提供 	

3. チャレンジする比延づくり

取組の方向性	達成度	今後は？			備考	
		このまま続ける	やめる	より充実させる		わからない
特産品づくり	前期	3-① 竹林の再生	5	1	1	・比延地区外の人からの評価も高い。 ・オーナーはほとんど外部の人。 ・加工がいま一步できていない ・オーナー性は5、加工は4
	中後期	3-② 竹の子の加工、竹林オーナー制	5		1	・ひょうたんはやめる（できない人がいない） 後継者がいない ・キクイモはできている（後継者の問題はあ る） ・キクイモ・焼肉のタレ・いちごジャムは5、ひょうたんは1
		3-③ キクイモ・ひょうたんなどの特産品づくり	3	3	3	・何を復活させるか？
		3-④ 比延地区の伝統工芸品の復活	1	1	5	・何か新しい取組が必要
		3-⑤ 若い人の定住が増えるよう、多世代交流・人材育成	2	5	1	・新しいマップを作りかえる計画あり ・食べるところがない
	後期	3-⑥ 比延の「見る・食べる・遊ぶ」マップづくり	1	2	3	・借り手がない
	後期	3-⑦ 休耕田の貸農園、情報の提供や受け入れ	1	2	3	・若い人が魅力を感じる町づくり
	後期	3-⑧ I・U ターン者が増えるよう、外に向けて比延をアピール	2	4	2	・週2回程度更新
	前中期	3-⑨ ホームページ、Facebook 等で比延の魅力発信	2	5	1	・市に（頼る）協力 ・西脇夏祭り ・インスタ映えのポイントの発信 ・人を地区に呼ぶ
	前中期	3-⑩ 比延を発信できるイベント等の開発・実施	2	5	1	

4. 協働の場づくり

取組の方向性	達成度	今後は？			備考	
		このまま続ける	やめる	より充実させる		わからない
(仮称) 比延地区自治協議会の設立	短期	4-① 組織合併・新協議会の設立	2	3	3	・コロナ後を見据え活動を充実
	中後期	4-② 自治協議会の設立	3	3	3	・多くの人の意見を拾う

(3) 第3回ふるさと夢会議の記録（令和4年10月15日 こみせん比也野）

1. 会長あいさつ

2. これまでの振り返り（浅見より）

○ 作業の位置付け

- ・ 前回から、新しいまちづくり計画を策定するための作業を行っている。

○ 前回の振り返り

- ・ 前は、比延地区のいいところと悪いところをリストアップする作業を行った。良いところは伸ばせばいいし、悪いところや心配なところは少しでも解決したい。みんなでやることを抽出できるとよい。

自助・共助・公助のうちの「共助の周辺」がみんなで取り組むまちづくりの範囲

- ・ また、以前の「まちづくり計画」を眺めて、どの程度実現しているかなどをチェックした。この内容については、後に活用することとする。

3. 作業① | 地域の課題を「自助・共助・公助」の視点で分類

- ・ 5チームに分かれて地域の課題の分類作業を行った。（別紙）

4. 作業② | 「共助」の周辺に分類した項目を「解決のしやすさ」と「重要性」で評価

- ・ 5チームそれぞれが分類した共助周辺の課題をグラフの上で評価しなおした。（別紙）

5. 解決がしやすく重要なものの中に地域をよりよくするためのヒントがあることを確認

- ・ 次回は「解決がしやすく重要な」課題に対する解決のアイデア出しを行うことを確認して第3回の夢会議を終了した。



① 地域の課題を「自助・共助・公助」の視点で分類する

グループ1

(〇いいところ、●悪いところ)

自助	自助～共助	共助	共助～公助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人情味がある ○ 日本一の人がいる ○ 素敵な女性がいる ○ 違う名字の家が多い ● 路上駐車が目立つ ● 犬のフンが落ちている ● 年寄りの頭がかたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いい意味でお節介 ○ 犯罪が少ない ● 若者の結婚が少ない ● 役員・委員はもつとシエアすべき一人三役は× ● 人がいない(散歩しても) ● 若い人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老人会の人とは良く声をかけあう、誘い合っている ○ ホタルがいっぱい<乱舞> ○ 子どものあいさつが良い ○ あいさつができる ○ 町内の住民同士の仲が良い ○ やさしい ○ 比延の子ども達の素直な心 ○ 子どもがやさしい ○ 人が少ない、すいている ○ 消防団がまとまっている ○ 公民館が使いやすい ○ 若い人の仲間意識が良い ○ 運動会は地域みんなに参加する ○ 見守隊の人に感謝 ○ 野菜物の分け合いが良い ● 有害鳥獣が多い・大変(×3) ● 鹿が多い ● あらいぐまが多い ● 町民が高齢のため草刈りが大変 ● 地区外の人の受け入れが悪い ● 地域で活躍している人にスポットライトを ● 以前から住んでいる人は色々分かっていることが多いが他府県や他の地域から来た人達は比延で行っている行事をあまり知らない ● 道横の雑木、草が交通に影響 	<ul style="list-style-type: none"> ● 神社の屋根が落ちそう ● ローソンが遠い ● 店が近くにない ● 店が少ない ● 街灯が少ない ● 一人暮らしの方が多い ● 池が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市部へ1時間くらいで行ける ○ 古い神社がある ○ テレビ中継をするゴルフ場2つ ○ 水路がきれい(鹿野町) ○ 田園風景がのどか ○ ため池をもつとPR ○ 自然が豊かです ○ 城山がきれい ○ 山(緑)が美しい○ 美しい川をPR(泳げる川に) ○ 自然豊か ○ 三田市丹波市にも近い ○ 丹波篠山に近い ● 避難場所が遠い ● 大橋に歩いて渡るのが怖い ● 危ない道路が一部ある ● 鹿野町の旭商会から塚口へ行く道のカーブ ● 道が一本しかない(道が閉ざされると) ● 道が狭い ● 上比延町の道幅が狭い ● 丹波篠山へトンネルを ● 就職での他府県への移動が多い ● 花火大会の時の交通整理

グループ2

(○いいところ、●悪いところ)

自助	自助～共助	共助	共助～公助	公助
○車の所有率が高い	●飲食店が少ない	○近隣の交流が盛ん ○他の地区と比べて仲間意識が強い ○放棄田が増えている 貸農園向きがある ○緑が多い ○駐車場がタダの所が多い ○移動販売が良い ○田畑が多い ○土地が広い ●自治防災組織がない ●特産品がない ●お店が少ない ●草刈りがかなりしんどい ●観光資源がない ●多忙である(役員となれば)	○お米がおいしい ○播州織り ●若者が少ない ●高齢化 ●若者 子どもが少ない	○国道に近い ○ゴルフ場が多い ○へそ公園の開発(全国の人が遊びに来たくなる場所・インスタ映えスポットになる) ●JRがなくなってしまう ●不便である ●交通が不便 ●公共交通が少ない ●コミセンへの道が狭い ●学校がなくなりそう(小・中) ●ホテル・お店など観光(資源)を盛んにする資源がない ●比野の放送が煩わしい ●高齢者の足が少ない(公民館以外) ●公共施設がない(公民館以外) ●法のしびりが多い (市街化調整 農振法) ●働く場所が少ない ●無医町である ●子どもの遊び場が少ない

グループ3

自助	自助～共助	共助	共助～公助	公助
○同級生がたくさんいる ●家庭の教育力が高い ●忙しすぎる人が多い	●スーパードがない ●お店がない ●若者が少ない ●高齢者が多い	○協力的な人が多い ○みんな顔見知りで見守りやすい ○地域が落ち着いている ○やさしい子どもが多い ○ゴルフ場が3つある ○ゴルフ場が多い ○手作りの野菜がおいしい ○人情味が良い! ○安全である ●小中統廃合が決まっていけないなか、まちづくりは難しい ●活性化があまりない	○災害が少ない ○涼しい ○空気がおいしい ○自然が豊か ●比延地区のへそ公園の活用があまりない→市との連携必要	●道が狭い [旭商会⇒比延町の間]

グループ4

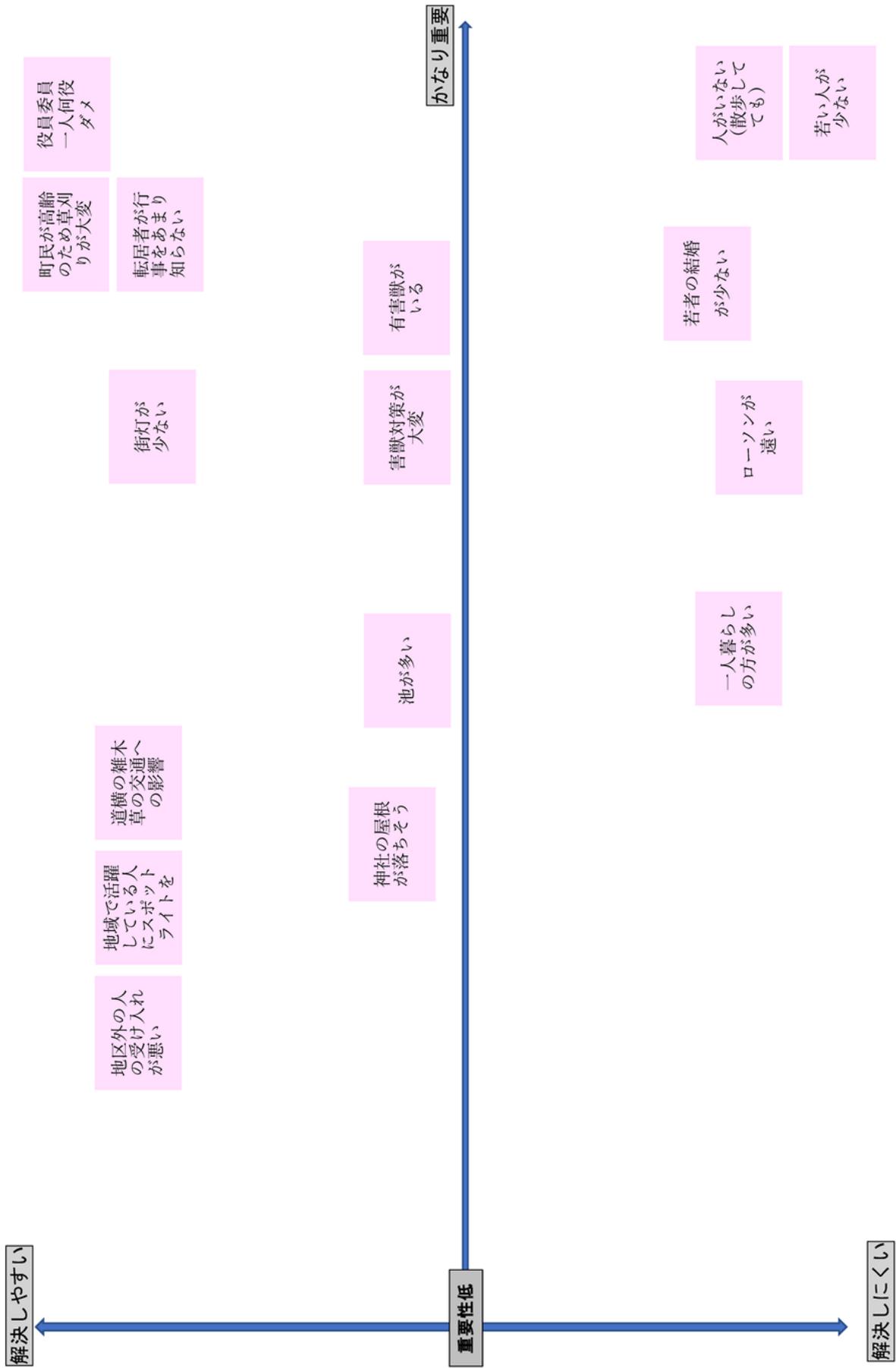
(○いいところ、●悪いところ)

自助	自助～共助	共助	共助～公助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ○ 協調性のある人が多い ○ 責任感のある人が多い ○ 人がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑草が伸びるのが速い(道路脇) ● 車が無いと不便 ● 自分の事しか考えられない人が増えている ● 行事に参加する人が少なくなってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜がもたえる(近所の方から) ○ 子どもの友達(同級生)はみんな知っている(ママ友もできる) ○ 騒音がない ○ 自然が多い ○ 自然が美しい ○ 自然が豊か ○ 空気がキレイ ● 町・地区・学校等の役がすぐ回ってくる(多い) ● ゴルフ場が多いので共同イベントを計画してみてもいい? ● 自分の財産が管理できない山・林 ● 店がない。外食するところがない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ へそまつりや花火もあって夏のイベント最高! ● JRが赤字路線で廃線を検討している ● JRを利用する手だてを考えよう ● 人生70年迄働くようになるのでその中でまちづくりを考えられるように ● 野生動物(キツネ)の出現がある ● 空家が多くなっている ● 田畑の害獣が多い ● 地区にお店がない(ドラックストア・スーパー) ● 若者の参加出来る行事が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウォーキングしやすい ○ 子どもにはいい環境 ○ 車があれば市街地に近い ○ ゴルフ場が近い、多い ○ JRがある ● 通学路が危ない所が多い ● 若い人が住宅を確保できる対策 ● 道が狭い ● 鹿野大橋に歩道がない ● 子どもが少くない

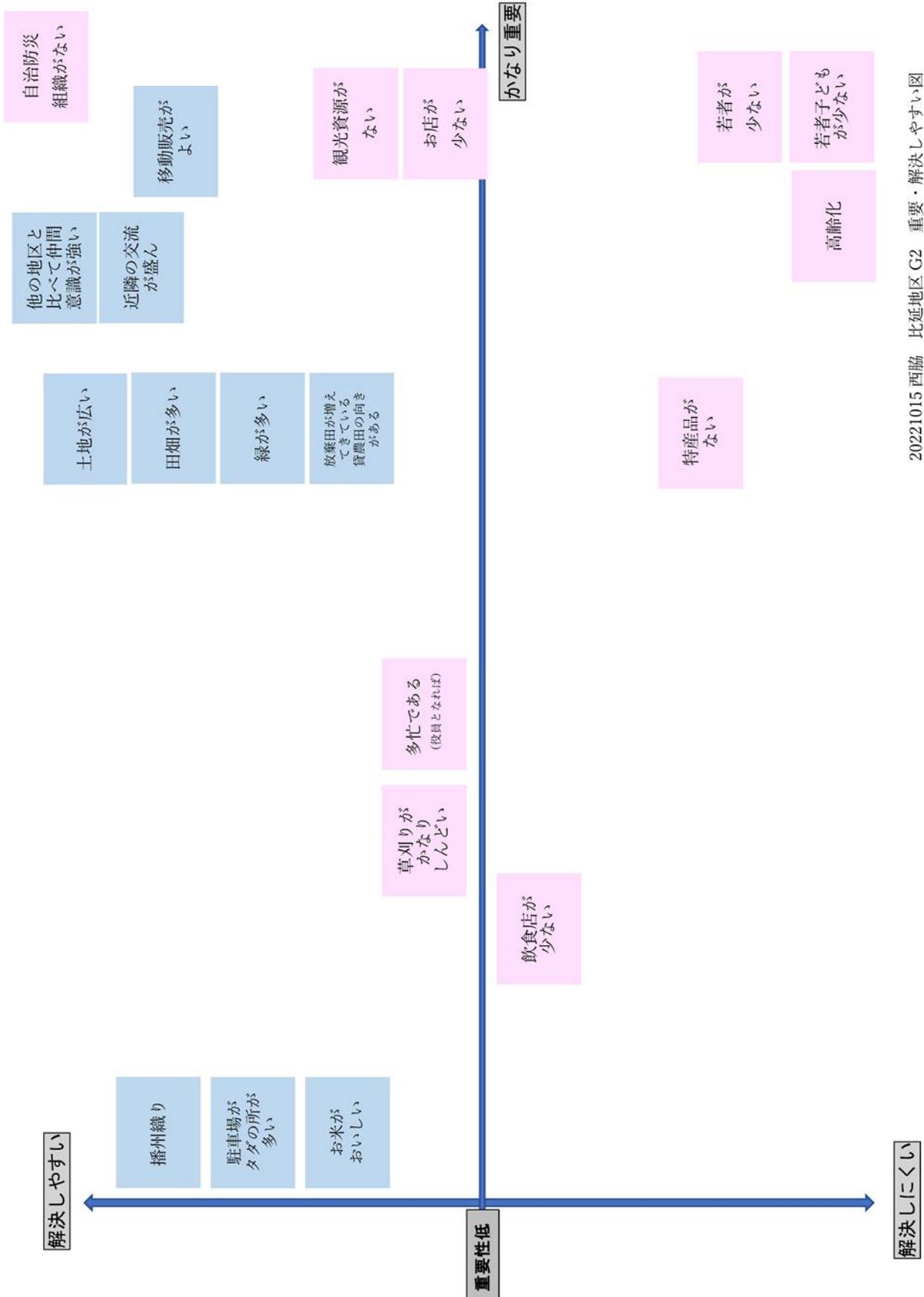
グループ5

自助	自助～共助	共助	共助～公助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ● 一人暮らしの老人が多い ● 年配二人暮らし、一人暮らしが多い ● 子どもが少くない ● 独身者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが仲良し ○ 子どもが良いい子が多い ● 草が伸びすぎて交通に悪い ● 行事に参加する人が少ない ● 町の行事に若い人が出なくなってきた ● 若者が少ない ● 若者の地域離れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 静か ○ 山の緑が美しい ○ 水がキレイ ○ 夜空がキレイ ○ 空気がキレイ ○ みんな知り合い ○ 野菜や米がおいしい ○ 子どものあいきつがよい ○ 住みやすい ○ 多くの人が協力的 ○ 近隣の人と話がしやすい ○ 郷土愛 ○ 最近若い人のIターンがあった ● 町の行事が困難になってきた ● 放棄田が増えた ● 休耕田が多い ● 買い物場所が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 獣害が増えた ● 働く場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ へそ公園の拡大と充実 ● 学校が無くなるかも ● 市の施設が少ない ● 空家が増えすぎてくる

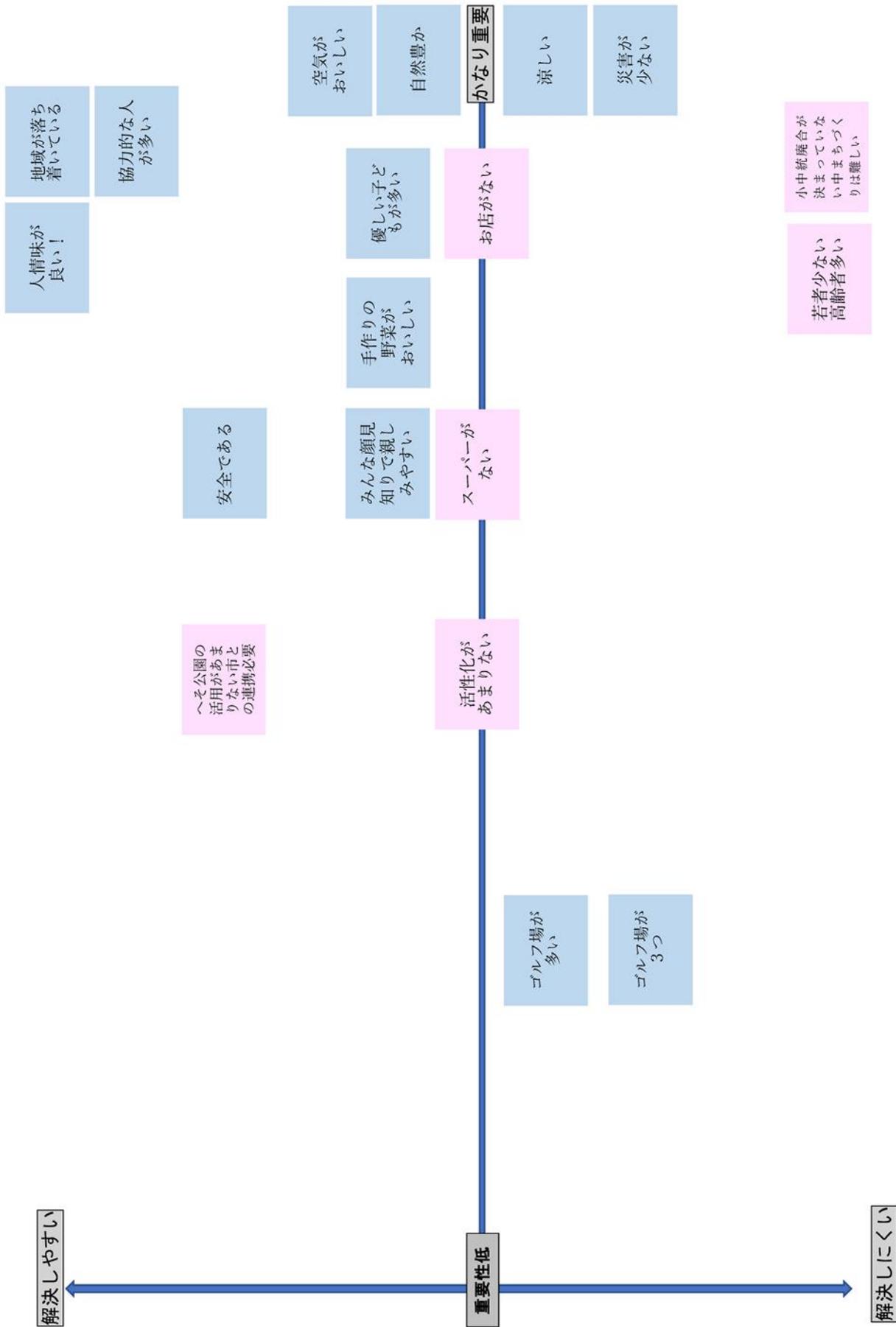
② 「共助」の周辺に分類した項目を「解決のしやすさ」と「重要性」で評価する



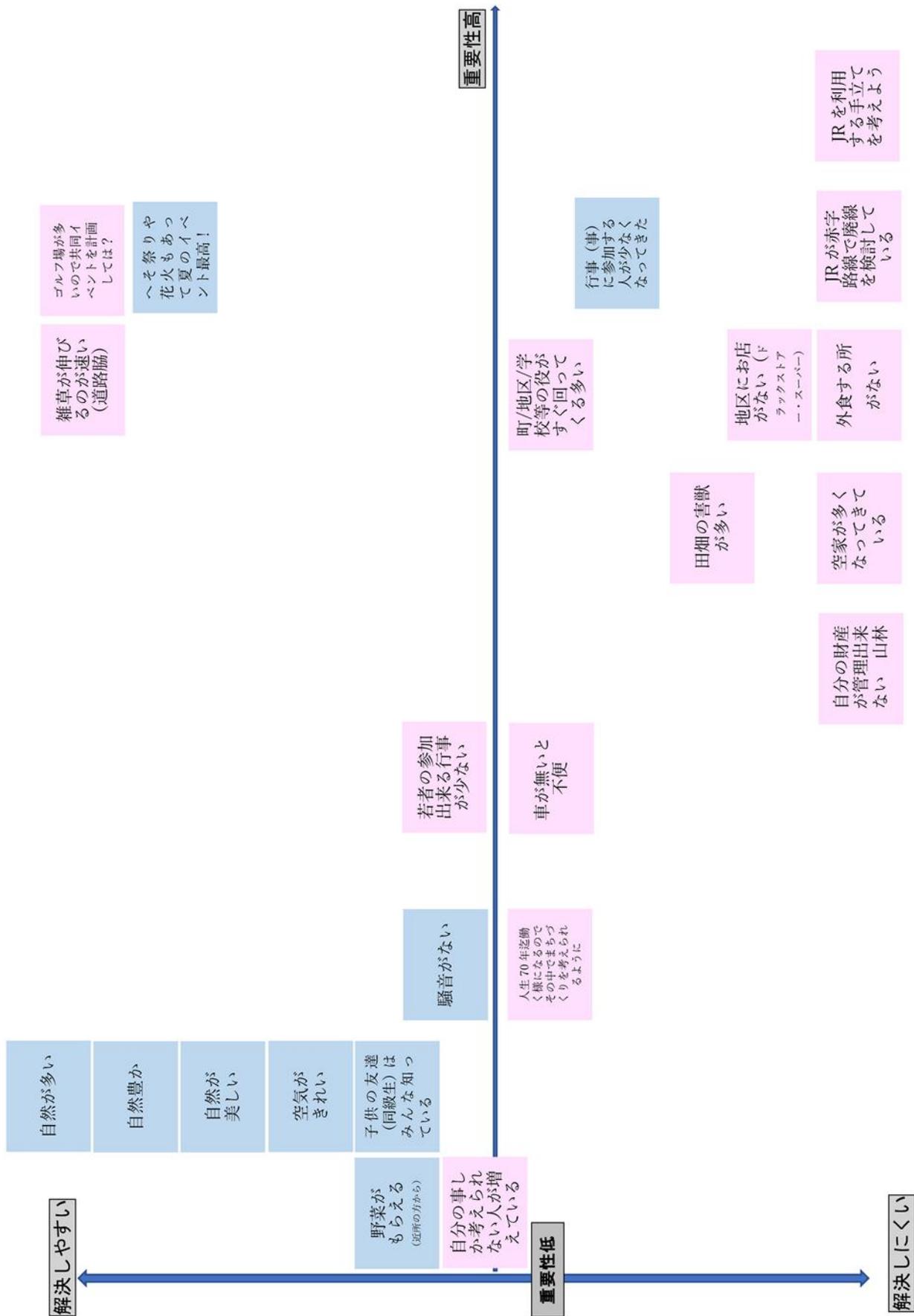
20221015 西脇 比延地区 G1 重要・解決しやすい図



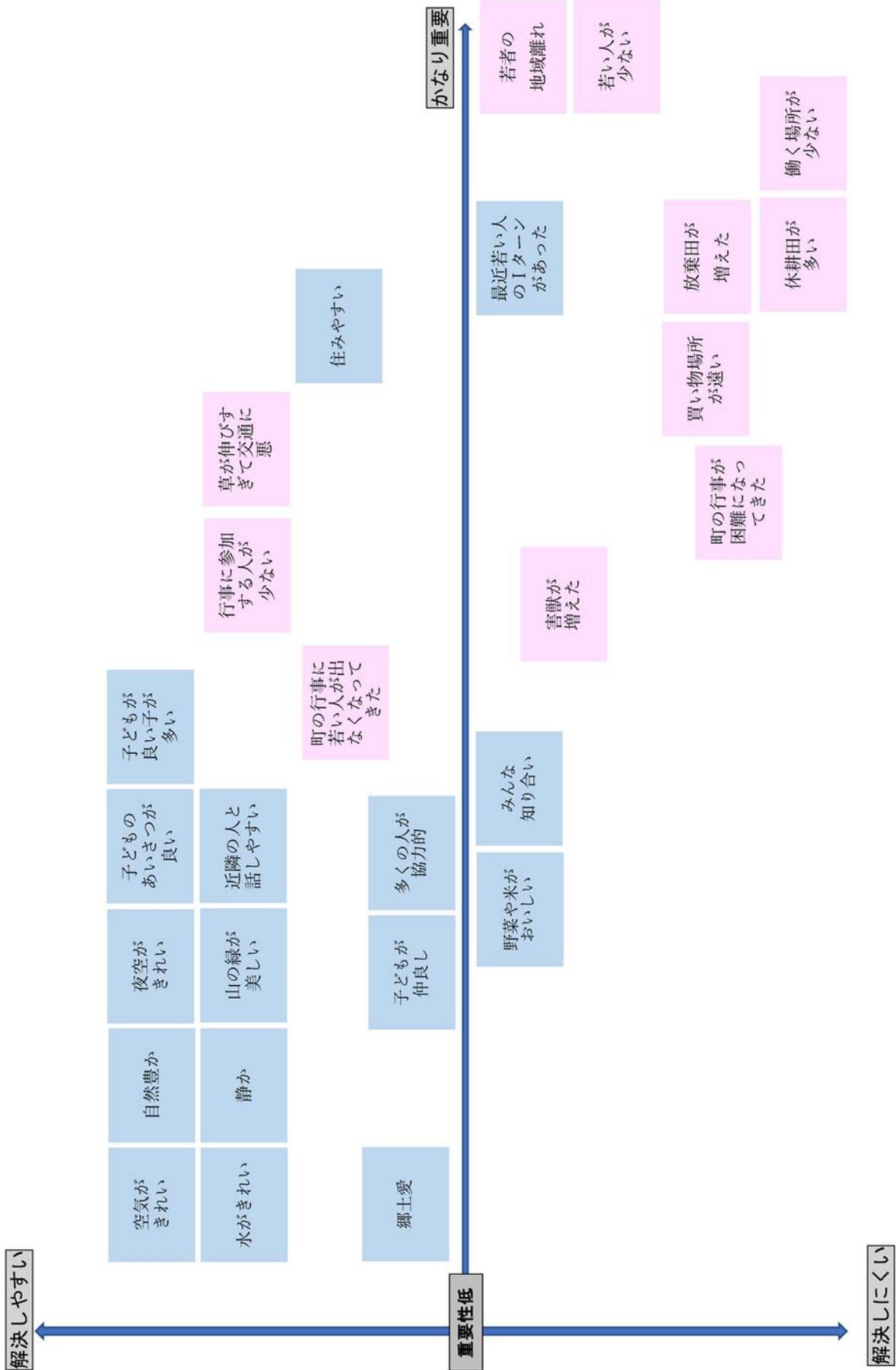
20221015 西脇 比延地区 G2 重要・解決しやすい図



20221015 西脇 比延地区G3 重要・解決しやすい図



20221015 西脇 比延地区 G4 重要・解決しやすい図



(4) 第4回ふるさと夢会議の記録（令和4年12月10日 こみせん比也野）

1. 会長あいさつ

2. これまでの振り返り（浅見より）

○ 作業の位置付け

- ① 比延の「よいところ」「わるいところ」をできるだけあげた。
 - ② あげた地域課題を「自助・共助・公助」の課題に分けた。
 - ③ 公助周辺の課題を解決しやすさと重要性で評価した。
- 今日の作業は課題のうち「重要で解決しやすいもの」をとり出して、課題解決のアイデアをできるだけたくさん出すこと。

3. 「ブレイン・ストーミング」の練習

○ 皆の頭をやわらかくするための「ブレイン・ストーミング」の練習

アイデア出し作業の前にできるだけアイデアを出しやすい環境づくりを行った。

ブレインストーミング練習シート

宇宙服	葉	宇宙食	望遠鏡	水	ケイタイ トイレ用 袋	通信機 器	記録 写真
2nd着	痛み止め	カマウ	パンツ 下着替	ケイタイ	お守り	アメ	DVD
アイマスク	歯ブラシ	自分のための 寝具	ソックス シャツ	ゲーム	遊具	2.5.サージ 器	録音機
セーター	お金	酵素	体重計	ビール	ジュース	木	栄養剤
ハサミ	スリッパ	ボールペン	のり				

アイデアの出し方（良い方法）
 ＊たくさん出す ＊質より量 ＊判断は後から ＊数が大事 ＊誰の意見に便乗
 ＊尖った意見を歓迎する

練習を行った「ブレイン・ストーミング練習シート」の一例

「チームで月世界旅行に行くことを前提にして、チームの持ち物を40個あげる」作業をどのチームが最も早く終わらせるかを競い合った。

4. 課題解決のアイデア出し

○ 課題のうちの1つを抽出して、その課題の原因を特定する作業

○ 続いて原因を参考にして課題解決のアイデア出し

5チームに分かれて作業を行った。それぞれのチームでアイデアを出したあとは、よりよいアイデアに投票する作業を行った。（作業結果は別紙）

① Aチーム …課題 ○…課題の原因 →…解決策 ●●…より重要だと思うアイデアへの投票結果

スーパーがない

- スーパーにかかる税金が高かった
- 損得でものを考える
- （現状）車で買い物に行ける
- 安い品を求めて車で外へ買いに出る
- 地元の店を利用しないから
- スーパーの土地代が見合わなかった
 - 土地を安く売ってあげる ●●
- 資金力に負けてしまう
 - お金を貸してあげる
 - 色々な方法で資金調達
 - 企業をもっと受入れやすくする

店が遠い・店が無い

- 便利さに欠ける
- 店が無くてどうにかかなと思っている
 - 一戸株主をつくる ●

観光資源がない

- 緊急性を感じてない
 - 観光資源をつくる

特産品がない

- 高くても良質な品を ブランドを作る（野菜・織物など） ●●●●●●
- 少しくらい高値でも近くで購入する
- 特産品をもっとつくる・今は竹の子・キクイモ etc ●●●●●●
- 阪神へ通勤できる交通機関の整備（直通バス）
- 人がいない
- 買う人がいない 人口が少ない
 - 住宅を建てる 無印良品とか（若い人が魅力ある住宅を造る） ●●
 - 人が住める工夫をする | 農地改革
- 会社がない
- 地元の仕事先がないので人が出て行く
 - リモートで仕事ができる環境を充実させる ●
 - ・U、Iターンの人に資金援助を大きく
- 魅力を感じる場所、仕事
 - ・“道の駅”を自分たちでつくる

土地が広い 田畑が多い 緑が多い

- ヘリポートをつくる
- 人口減に対応した土地利用の方法を考える
- 地域の財産をもっと生かしたまちづくり ●
- 自然を生かしたまちづくり
- 飛行場をつくる
- 工事が出る土砂を捨てる 受入れる
- 貸し農園をつくる
- 自動車工場をつくる
- 区画整理の見直し
- 広大な芝生広場 グランドをつくる
- 町営アパートを造る 住宅を建てるように工夫する ●●●●
- 工場をつくる
- 野菜作りの指導をする
- 町外及び若者に畑を貸す
- 宇宙への発射台をつくる
- 温泉を掘る
- 紅葉のきれいな溪谷をつくる ●●
- もみじを植え 紅葉の道を作る
- 石油を掘り当てる
- ジビエ料理
- テーマパークをつくる ●
- ため池ツアー
- 山から山へケーブルをつくってジップラインをつくる ●●●●●●
- 天体観測基地（星がキレイ） ●●●●●●
- キャンプ場を作る アウトドア施設（グランピング）
- 森の整備 野鳥の集まる山をつくる
- 地区一周トレッキングコースをつくる

②B チーム …課題 ○…課題の原因 →…解決策 ●●…より重要だと思うアイデアへの投票結果

若者や子どもが少ない

- 遊び場所が少ない
 - 日本へそ公園の整備 アピール
 - 公園の規制緩和 ボール遊び OK
 - 広場を作る
- 市街化調整区域なので家が建てられない
 - 国、県に働きかける
 - 法改正の規制緩和
 - こども園を増やす
 - 空家を生かして居住してもらう●
 - 子ども達に比延を好きでいてもらう→友達と仲良く
 - 友達と一緒に比延で暮らし続ける●
 - 大人が楽しく暮らす 子は親の背中を見て成長する
 - 田舎の良さを子に伝える●
 - 特色のある学校を作る | 英語に特化とか
- 昔のような仲介人がいない
 - お節介ばあさんを増やす (受け手?) ●●●
- 一世帯の子どもの数が減っているから
 - 子ども誕生に 50 万円の祝金●
 - 子どもが多い方が良いことを親に伝える●
 - 高齢者が地域の子どもの世話をする
- 働く場所が少ない
- 都会に出てしまうから
- 学歴が高学年となり帰宅しない
 - 工場公園等を増やす●
 - U ターン帰省し起業したい人に支援(無利子 500 万円支援)
 - 特殊な産業の誘致 (働く場所を増やす) ●
 - ワークেশョン
 - 比延の自然を活かした企業誘致●
- お店が少ない
 - へそ公園周辺を開発してお店を増やす●
 - 起業したい若者・人を助ける●●●
 - 北播地区の生活拠点に
- 子育てに優しい税制度のアピールが弱い
 - 西脇市の子育て支援の税制度を市にアピールしてもらう

安全である

- ・ 高齢者も散歩グラウンドゴルフできる●
- ・ 子どもの通学安全チェック
- ・ シカ、イノシシに気をつける
- ・ 鹿、猪の出現増えた●
- ・ 道路を整備する
- ・ 防災行政無線が有効に使える●
- ・ 公園を整備して人が集まる場所をつくる
- ・ 防犯カメラを増やす
- ・ 地域で挨拶ができています
 - もっとできるようにする
- ・ 「安全・安心」商品の CM 撮影地にする●●
- ・ コンビニなど 24 時間営業のお店を増やす
- ・ 信号を増やす
- ・ 比延地区の PR に使う●●●
- ・ 交番を増やす
- ・ 外灯を増やす●●●
- ・ 子ども達が素直
- ・ 野菜の自家栽培
- ・ 安全を生かして皆が楽しめる施設を作る
- ・ 仲間意識が強い
- ・ 交通量が少ない
- ・ 犯罪の情報を共有しやすい
- ・ 避難所的に使う
- ・ 子育て 学校づくりの拠点にする●●●
- ・ 高齢者元気!! コロナに負けない
- ・ 災害が少ない
- ・ 警察の見回りを増やす
- ・ 子どもが外で遊べる
- ・ 消防自動車各班がある
- ・ コミュニケーションをさらに強化する
- ・ 災害時自衛隊の宿舎ができる

③C チーム …課題 ○…課題の原因 →…解決策 ●●…より重要だと思うアイデアへの投票結果

放棄田・休耕田が増えている

- 米が安すぎる
 - うまい米を作る努力 ●●
 - 米でなく他の食べ物(野菜、果物)を作るか? ●●
- 農業で暮らすのが大変
- 害獣対策が大変
 - 補助金制度の見直し(補助金を高く) ●●●
- 高齢化の為
- 耕作者の高齢化
- 若者が少なくなった
- 作る人が街へでてしまう
- 若者が職業として選ばない
- 採算が合わない
 - 米作り会社を作る ●●●
 - 法人化する? ●
- 農機具代が高くつく
- 機械が高い
 - 機械はリースでどうか? ●

みんな顔見知りで親しみやすい

- 生活がしやすく楽である
- 町内の共同作業がよく捗る ●
- 野菜などもらい物が日常茶飯事である ●
- 親睦旅行の参加者が多い
- 酒飲み友達が多い
- 町内ゴルフコンペが 57 回目をむかえた
- 田、畑の作業がやりやすい ●
- 生活にストレスを感じない
- 小学校が一緒である
- 隣同士で留守番ができる
- 心やすい
- 小さいときから一緒 ●
- 安心して暮らせる ●
- 災害時は助け合う ●●●
- 共通の話題がある
- ドロボーを防げる
- イベントがやりやすい ●●
- リーシキにみんなで送る
- 助け合い募金がよく集まる
- おまわりさんとも仲良し
- 旅行に一緒に行く
- 物の貸し借りがしやすい ●●
- 花見、盆踊り、運動会ができる
- 物がいいやすい
- 川東は何事にもまとまりやすい?
- 年の差でも気にならない!

④D チーム …課題 ○…課題の原因 →…解決策 ●●…より重要だと思うアイデアへの投票結果

役員が多忙・1人何役も

- 人が少ない
 - お節介な仲人を育てる ●●
 - 役の好きな人達をおだてて持ち上げていく
- 若者の企業
- 独特な産業(仕事)

若者や子どもが少ない

高齢化が進んでいる

- 住宅政策
 - 大規模住宅より町に合った宅地提供 ●●●

→ 2~3世帯の同居者への経済支援(補助金) ●

- 仕事がない
 - 農業で生計を立てられる提案 ●●●
 - 比延地区ならではの仕事 ●●
 - 自然と生きる環境のPR ●●
- 学校が遠い
 - スクールバス
- 田舎の魅力づくり
- 参入企業との合同イベント
 - 家庭菜園講座 ●●

協力的な人が多い

- タクシーに代わる人達を増やす ●●●●
- 空家の活用 ●●
- 子ども会をもっと元気に (子ども増やす?)
- 双葉小学校に来てもらう
- PTA
- 隣保内 町内での高齢者支援 ●
- 地区内で企業
- 地元にとどまるよう若者を説得
- 1人1つの協力
- 地域密着
- 高齢者との近所付き合い
- サークルを増やす
- 声かけをもっとひろげる
- 向こう三軒両隣のまちづくり
- 登山者のマナーを地域に ●

- 趣味仲間 ●●
- 隣の人との会話
- 仲間作りで何か始める
- Uターン者求む
- 仕事 (生きていける収入) が増すように
- 田畑で生きていけないか?
- 集まって何か出来ないか
- ボランティアに参加する人増やす
- 自分たちで働く場所づくり ●●●●●
- 自治協議会頑張る
- 近隣者が何かをしていると人が集まる
- アパート居住者が定着したいと思えるよう
- UターンIターン者も暮らしやすい
- 支え合うまちづくり
- 他地域から来た人に協力を求める

⑤ E チーム …課題 ○…課題の原因 →…解決策 ●●●…より重要だと思うアイデアへの投票結果

若者や子どもが少ない

- スーパーが遠い
 - スーパーを呼ぶ ●
- 子どもが小学校に上がる時に引っ越す人が多い
 - 行政に子育て支援を強く要望
 - 子どもに対する公的支援を増やすように ●
- 独身が多い
 - 婚活パーティーを開く ●●
 - おせっかいやきのおばちゃんを募集する ●
- 仕事がない
 - みんなで仕事をつくる
 - 企業誘致
- 若者が外に出してしまう
- 都会へ移る
 - みんなで会社を作る ●●●●●
 - 働き場所を作る
- 若者が楽しめる施設がない
 - 若者が楽しめる施設をつくる ●●●
- 地元に戻ってこない
 - 地元の求人情報を半年に 1 回は発送してあげる ●

手作り野菜がおいしい

- 特産野菜を決めアピール
- 1つの野菜を特化させる ●●
- 野菜コンテストを開く
- 畑づくり野菜作り体験を聞く
- 加工品の試食会
- 野菜作りのコツをレシピ化する ●●●
- 野菜の無人販売を広める
- 地区の野菜だけを旬ごとに集めて売る
- 野菜の 100円ショップ ●
- 芋掘り体験を行う
- 焼き芋大会を開く ●
- 漬物
- 野菜名人を募集
- Instagram で発信
- 野菜のおいしい地域に行ってみる
- ソース工場をつくる
- 野菜教室を開く
- 大都会で販売会を開催 ●●●●●●
- 試食会を開く ●
- 新たな野菜作りをする
- ネットで販売 ●
- 新たな料理をつくる

(5) 第5回ふるさと夢会議の記録 (令和5年1月27日 こみせん比也野)

1. 会長あいさつ

2. これまでの振り返り (浅見より)

○ 作業の位置付け

- ① 比延の「よいところ」「わるいところ」をできるだけあげた。
- ② あげた地域課題を「自助・共助・公助」の課題に分けた。
- ③ 公助周辺の課題を解決しやすさと重要性で評価した。
- ④ 課題解決のためのアイデアをたくさん出した。

→この解決のためのアイデアを、分かりやすく取組やすく並べたものがまちづくり計画
今日の作業はたくさんアイデアをまちづくり計画の形にすること。

3. まちづくり計画のアイデアづくり

○ これまでの皆さんの意見の整理

これまで議論してきた内容を整理した。

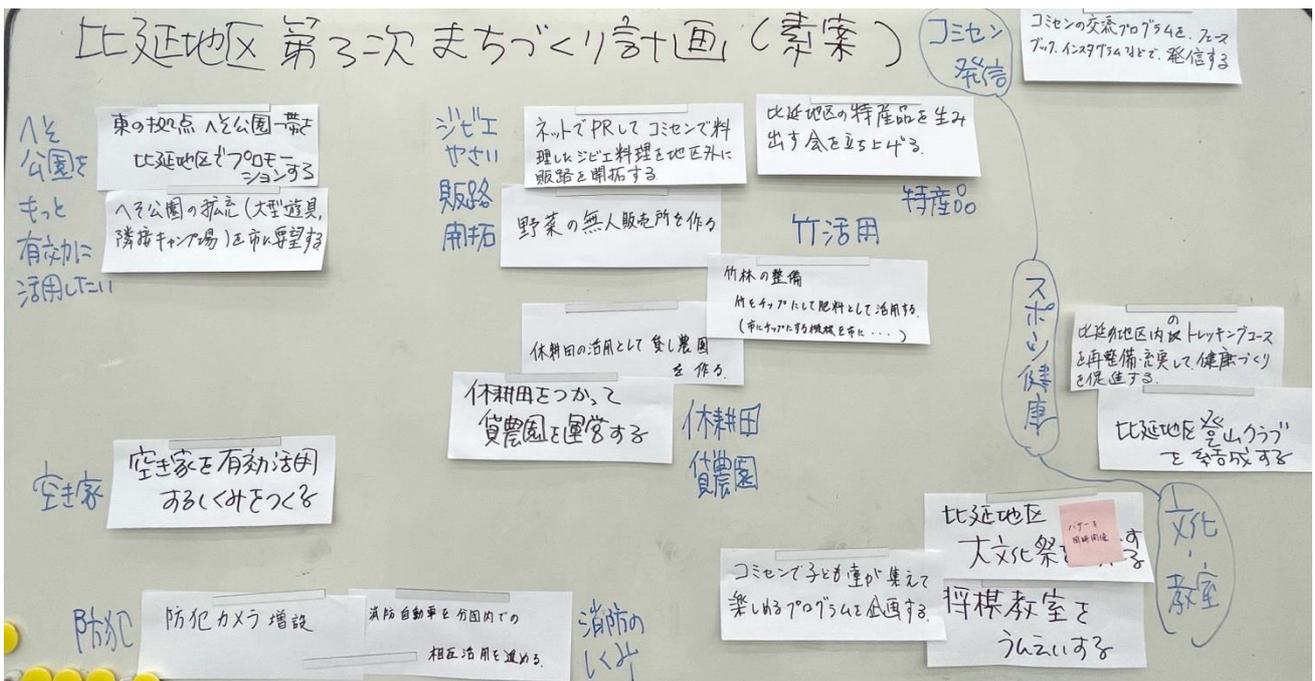
- ① 以前の計画の評価 (P39)
- ② 活かせそうな比延の資源 (P40)
- ③ 解決したい比延の課題 (P41・42)

○ まちづくり計画に向けた意見出し

3班に分かれてまちづくり計画に向けた意見を出し合った。

- ① グループ①の意見 (P43)
- ② グループ②の意見 (P44)
- ③ グループ③の意見 (P44)

○ まちづくり計画のアイデア [意見のまとめ] (P45)



○これまでの皆さんの意見の整理

①以前の計画の評価

以前の基本方針・施策テーマ（皆さんによる評価まとめ）

1. ふれあいの比延づくり

取組の方向性	達成	今後は？		備考		
		続ける	やめる		充実	不明
より開かれたコミセンづくり	4.2	1		5	期待 コロナでできなかつたことも多いが… 施設が狭い、広い部屋が2階だけ。使い勝手が悪い 若い世代になく必要あり	
多様な交流プログラムづくり	4.1	5		1	知らない人も 今の状態をどう保っていくか (人材)	
2. 支えあいの比延づくり	2-①移動販売サービス	4.7	2	4	人数を増やす	
	2-②送迎サービスへ事業拡大	1.7		2	めぐリン、むすブンのサービスを活用	
	2-③「へそでちや」の物販充実	4.3	3		3	
	2-④「へそでちや」への送迎サービス	1.1			2	あれば良いが運転手の問題 むすブン、めぐリンを活用
	2-⑤西脇市街地への送迎サービス	1.9				
	2-⑥休耕田での景観作物栽培、沿道美化	2.0	2		1	企業との情報の共有、地区での掌握 各町ではできているが、自治協としてはできていない 農会が実施 (レンジ、ひまわり) 種が手に人ならない (予算)
	2-⑦荒れた田畑の管理・活用・獣害対策	1.7	1	1		各町での取組はできているが、自治協としてはできていない 町、自治協、市としての取組がわかりにくい
	2-⑧空き家の情報管理と提供					各町、農会に 各町まかせ 空き家対策
	川畑や空き家等の管理・活用					

3. チャレンジする比延づくり

特産品づくり	3-①竹林の再生	4.5	5		1	比延地区外の人からの評価も高い オナーはほとんど外部の人 加工がいま一歩できていない オナー5、加工4	
	3-②竹の子の加工、竹林オーナー制	3.7	5		1	ひょうたんはやめる (できる人がいない) 後継者がいない キクイモはできている (後継者の問題は) キクイモ・鹿肉のタレ・いちごジャムは5、ひょうたんは1	
	3-③キクイモ・ひょうたん特産品づくり	3.6	3		3	何を復活させるか?	
	3-④比延地区の伝統工芸品の復活	1.0		1	5	何か新しい取組が必要	
	3-⑤多世代交流・人材育成	2.0			5	1	
	3-⑥見る・食べる・遊ぶマップづくり	1.5	1		2	3	新しいマップを作りかえれる計画あり 食べるところがない
	3-⑦休耕田の貸農園、情報の提供や受入れ	1.5	1		2	3	借り手がいない
	3-⑧I・Uターナーが増えるよう、外に向けて比延をアピール	2.0			4	2	若い人が魅力を感じる町づくり
	3-⑨ホームページ、Facebook等で比延の魅力発信	2.8			5	1	週2回程度更新
	3-⑩比延を発信できるイベント等の開発・実施	2.5			5	1	市に (頼る) 協力 西脇夏祭り、○山げんしよ祭り インスタ映えのポイントの発信 人を地区に呼ぶ

4. 協働の場づくり

比延地区自治協議会の設立	4-①組織合併・新協議会の設立	5.0	2		3	コロナ後を見据え活動を充実
	4-②自治協議会の設立	5.0	3		3	多くの人の意見を拾う

③解決したい比延の課題（1）

20221210

解決したい比延の課題（1）

課題	原因	解決策
スーパーがない	スーパーにかかると税金が高かった 損得ものを考える 安い品を求めて車で外に買いに出る 地元の店を利用しないから スーパーの土地代が見合わない 資金力に負けてしまう	少くらしい高値でも近くの店で購入する 土地を安く売ってあげる●● お金を貸してあげる 色々な方法で資金調達 起業をもっと受け入れやすくする
店が遠い・店が少ない（ない）	便利さに欠ける 店がなくてもどうにかなんとかなっている 緊急性を感じていない	一戸株主をつくる● 観光資源をつくる
観光資源がない 特産品がない	会社がない・仕事がない 人がいない（買う人がいない）	高くても良質な品でブランドを作る●●●●●● 現時点ではタケノコ・キクイモが特産●●●●●● リモートで仕事ができる環境をつくる● 魅力を感じる人場所・仕事が必要
放棄田・休耕田が増えている	米が安すぎる 農業で暮らすのが大変 獣害対策が大変 耕作者が高齢化しているから 若者が少なくなった 若者が職業として選ばなくなった 作る人が街へ出てしまう 採算が合わない 農機具台が高い	U・Iターンの人たちに資金援助をする 人が住める工夫をする（市街化調整区域・農地改革） 道の駅を自分たちでつくる 住宅を建てる（若い人が魅了に思うような） 阪神へ通勤できる交通機関をつくる（直通バス） うまい米を作る努力●●● 米でなく他の作物をつくる●●● 補助金制度の見直し（高くする）●●●●
		米づくりに会社をつくる 法人化する 機械類はリースにした方がいい

○まちづくり計画に向けた意見出し

① グループ①の意見

- ・ 日本へそ公園・テラドーム・岡野山美術館・キャンプ場などの施設がもっと有効に活用されるよう比延地区から全国へ向けて情報を発信する（播州織も）
 - Instagram・Facebook etc
 - 西脇市出身の有名人にアピールしてもらう
 - へそ公園周辺が開発され、お店が増え、西脇経済が潤う？
- ・ 将棋教室をつくる
 - 子どもから大人まで楽しめる 0才～100才までいろんな世代間の交流ができ絆が深まる
- ・ 比延地区登山クラブを結成する
 - 西脇市の山を宣伝する
- ・ 空家が有効に活用されるよう比延地区でシステムをつくる
 - 移住される方の受け入れを助ける
 - お店に活用される方
 - Instagram・Facebook の活用
- ・ 比延地区合同で趣味の作品展を開催する（文化祭）バザー等の同時開催
- ・ 休耕田を利用して貸し農園を運営するシステムを比延地区で作る
- ・ 町外及び若者に畑を貸す
- ・ 貸し農園を作る
- ・ 休耕田の利用→貸し農園→野菜作り指導
- ・ 農家・非農家が集まって誰もがこれまでの行事ができる仕組みをつくる
- ・ 人口増加策も大切だが人口減少社会にあって元気なムラ、地区づくりを。いいものはイイ。つなげる手段を
- ・ 農業に興味をもつ若者を中心とした組織をつくる（交流）→サポートする高齢者
- ・ 野菜作りの指導をする
- ・ 農業で生計を立てられるような仕組みを作る
- ・ 空家の活用
- ・ 起業したい人に土地を提供するシステムを作る
- ・ 空家が有効に活用されるようせんでんする（インスタ・Facebook 活用）→移住される方の受け入れを助ける
- ・ 日本へそ公園・テラドームが有効に活用されるよう比延地区から発信する→地域住民のいいの場、子ども達の遊び場、他地域から来た人も楽しめるようにする→へそ公園周辺が開発され、お店が増え、西脇経済が潤う？人口増加にもつながる？
- ・ へそ公園・テラドーム・岡野山美術館の宣伝→（インスタ・Facebooketc 活用）、西脇市出身の有名人にアピールしてもらう
- ・ 出会いの場、お見合いパーティー
- ・ 将棋教室
- ・ 西脇市に子育て支援政策をアピールしてもらう
- ・ 職安からの情報を得る（求人）
- ・ 西脇最高峰の西光寺山の登山道整備
- ・ 西光寺山、城山のハイキング（登山）道を整備して、地区内に問わず気軽に活動できる組織をつくろう
- ・ 合同運動会
- ・ 趣味の作品展（文化祭）
- ・ キャンプ地の PR 方法

② グループ②の意見

- ・ 野菜の無人販売所を作る
- ・ 休耕田の活用として貸し農園にする
- ・ 比延地区のマップ作り
→ 公園・釣り場
ハイキング・ウォーキング・登山コース
食事処 などを入れる
- ・ 休耕田でのドローン飛行などを計画する
- ・ 町内買い物（出し）日を決めて乗り合い買い物を
する
- ・ 月1回困った事の話し合う会をもうける
- ・ 月1回何でも話し合う会を行う
- ・ 農産物の加工、作物造りの指導会を行う

③ グループ③の意見

- ・ 果樹園（休耕田）
- ・ 貸し農園を募る
- ・ 販路を地区外に求める
- ・ 新しい特産品をつくる
- ・ へそ公園に大型遊具を設置してもらうように
市役所に要望する
- ・ 季節毎に家庭菜園セミナーを開催する
- ・ コミセンでジビエ料理
- ・ 子育てに魅力あるまちづくり [ボランティア・
塾（学習/ピアノ/そろばん）
- ・ コミセンの交流 プログラムの情報を発信す
る（参加者増）
- ・ 集団農場（休耕田をまとめて活用）
- ・ 地域で果樹園経営

(6) 第6回ふるさと夢会議の記録（令和5年2月16日 こみせん比也野）

1. 会長あいさつ

2. これまでの振り返り（浅見より）

○作業の位置付け

- ① 比延の「よいところ」「わるいところ」をできるだけあげた。
- ② あげた地域課題を「自助・共助・公助」の課題に分けた。
- ③ 公助周辺の課題を解決しやすさと重要性で評価した。
- ④ 課題解決のためのアイデアをたくさん出した。
- ⑤ まちづくり計画のアイデアをたくさん出した。

→今日の作業は前回出したまちづくり計画のアイデアをまとめた「まちづくり計画素案」をブラッシュアップすること。

→まちづくり計画のキャッチコピーについてアイデアを出すこと。

3. まちづくり計画素案のブラッシュアップ

○まちづくり素案に対する意見

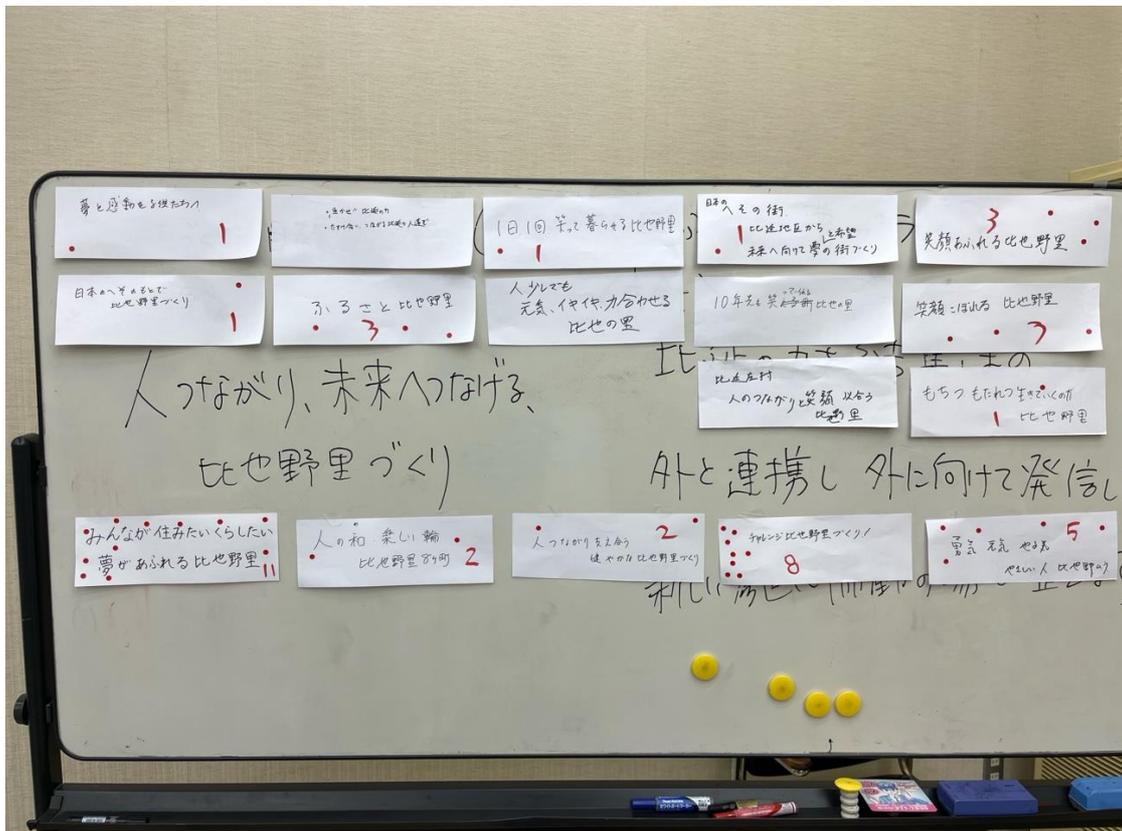
まちづくり素案の内容について意見を出し合った。

- ① まちづくり計画素案とみなさんから出てきた意見のまとめ。（別紙）
- ② まちづくり素案に対する意見。（別紙）

○まちづくり計画のキャッチコピーのアイデア出し

まちづくり計画のキャッチコピーについて意見を出しあった。

- ③ まちづくり計画のキャッチコピーアイデア一覧。（別紙）



①まちづくり計画素案とみなさんから出てきた意見のまとめ

比延地区第3次まちづくり計画（素案）

●基本的な考え方（キャッチコピー）

（空欄）

●地域内交流・コミュニティ再生のための取組

○交流の促進のための取組

コミセンの交流プログラムをFacebook・Instagramで発信する。

○高齢者の暮らし支援・互助の取組

○地域内外の住民のスポーツ振興・健康増進の取組

比延地区のトレッキングコースを整備・充実化して健康づくりを促進する。

地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」を作る。

○趣味・文化・集い場形成の取組（コミセンでの活動企画）

比延地区大文化祭を開催する。

子ども達が集えて楽しめるプログラムを企画・開催する。

将棋教室を運営する。（教え教えられる地域内カルチャーセンターの取組）

料理したジビエ料理を地区外に販売。

○防犯・防災・安心安全な地域づくりの取組

[防犯] 防犯カメラの増設を進める。

[消防] 消防自動車の分団内での相互活用を進める。

●地域振興のための取組

○空き家の活用

空き家を有効活用する仕組みをつくる。[取組主体]

○農業・農地の維持

休耕農地を利用して貸し農園を作る。（野菜作り指導） | 町外及び若者に農地を貸す。

竹林の整備。 | 竹をチップにして肥料として活用する。

野菜の無人販売所をつくる。

比延地区の特産品を生み出す会を立ち上げる。

○観光客の誘致・へそ公園等の活用

へそ公園一体を比延地区でプロモーションする。（へそ公園の拡充は市に要望）

○移住・定住・起業の促進

空き家を活用し移住者受け入れを進める。

起業したい人に場所を提供するシステムをつくる。

○少子・高齢・晩婚化対策

出会いの場・お見合いパーティーを開催する。

（子育て支援策について西脇市にアピールしてもらう）

子育てに魅力あるまちづくり。[ボランティア・塾（学習／ピアノ／そろばん）]

○地域内の移動手段を守る

JR加古川線の利用促進について考える

むすブン・おりひめバスの利用を進める

皆さんから出たまちづくり計画のアイデア

●基本的な考え方

人口減少社会にあって元気なムラ、地区づくりを。

●地域内交流・コミュニティ再生のための取組

世代間交流を促進する。

コミセンの交流プログラムの情報を発信する [参加者を増やす]。

月1回困った事を話し合う会を設ける | なんでも話し合う会の開催。

○高齢者の暮らし支援・互助の仕組み

買い物バスの運行。(あらかじめ日を決めて乗り合いで買い物に出かける)

○スポーツ・健康増進

合同運動会の開催。

西光寺山・城山のハイキング道を整備、地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」を作る。

○趣味・文化・集い場の形成

趣味の作品展(文化祭) | 将棋教室をつくる。

季節ごとに家庭菜園セミナーを開催する。 | コミセンでジビエ料理会を開催する。

●地域振興のための取組

○農業・農地の維持

休耕農地を利用して貸し農園を作る。(野菜作り指導) | 町外及び若者に農地を貸す。

休耕田をまとめて集団農場として活用する。

農業に興味を持つ若者を中心とした組織づくり。(高齢者によるサポート)

新しい特産品をつくる。 | 野菜の無人販売所をつくる。 | 販路を地区外に求める。

農産物の加工、作物造りの指導会を行う。 | 休耕田を果樹園に。(地域で果樹園経営)

農業で生計を立てられるような仕組みを作る。

○観光客の誘致・へそ公園等の活用

比延地区のマップづくり。[公園・釣り場・登山コース・食事処などを入れる]

へそ公園・テラドーム・岡野山美術館が有効に活用されるよう比延地区から発信。(SNSの活用)

(へそ公園に大型遊具を設置してもらえるように市役所に要望する)

地域住民のいこいの場、子ども達の遊び場として活用をすすめる。

他地域から来た人も楽しめるような工夫。 | キャンプ地のPR。

休耕田を使ったドローン飛行場をつくる。

○移住・定住・起業の促進

空き家を活用し移住者受け入れを進める。

起業したい人に場所を提供するシステムをつくる。

○少子・高齢・晩婚化対策

出会いの場・お見合いパーティーを開催する。

(子育て支援策について西脇市にアピールしてもらう)

子育てに魅力あるまちづくり。[ボランティア・塾(学習/ピアノ/そろばん)]

○地域内の移動手段を守る

JR加古川線の利用促進について考える

むすブン・おりひめバスの利用を進める

②まちづくり素案に対する意見

まちづくり計画に対する皆さんのご意見

●交流の促進のための取組について

→西脇から歩いて帰る人がいて、こうした人達の手助けをする方法が必要。

●高齢の暮らし支援・互助の取組について

●趣味・文化・集い場形成の取組について

→文化祭について記載。文化的な趣味サークルを中心に活動している。

「こみせんまつり（11/3）」は、双葉小学校にも参加を呼びかけたい。

「万能たれ比也野」は、神戸市元町の「元町マルシェ」でよく売れた。もっと売りたい。

→小学校で鹿肉カレーをして評判になった。ジビエ料理などの研究も進めたい。

獣害→捕獲→ジビエ料理。ストーリーがあることが大事。

●JRが廃線寸前なので、沿線に呼びかけて存続を図りたい

へそ公園の活用と合わせて考えると、より効果的かも知れない。

●空き家を活用して都会から人を呼ぶNPO法人の設立を検討中

計画のキャッチコピーに対する皆さんの提案

- ・「夢と感動を子どもたちへ」（1）
- ・活かせ比延の力 助け合い・つながる比延の人達で
- ・1日1回笑って暮らせる比也野里（1）
- ・日本のへその街 比延地区から未来へ向けて夢と希望のまちづくり（1）
- ・笑顔あふれる比也野里（3）
- ・日本のへそのもとで比也野里づくり（1）
- ・ふるさと比也野里（3）
- ・人少しでも元気、イキイキ力合わせる比也野里
- ・10年先も笑ってられる比也野里
- ・笑顔こぼれる比也野里（3）
- ・比延庄村 人のつながりと笑顔が似合う比也野里
- ・もちつもたれつ生きていくのが比也野里（1）
- ・みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里（11）
- ・人の和 楽しい輪 比也野里8ヶ町（2）
- ・人つながり支え合う健やかな比也野里づくり（2）
- ・チャレンジ比也野里づくり（8）
- ・勇気 元気 やる気 やさしい人 比也野里（5）

(7) 第7回ふるさと夢会議の記録 (令和5年3月17日 こみせん比也野)

1. 会長あいさつ
2. これまでの振り返り (浅見より)

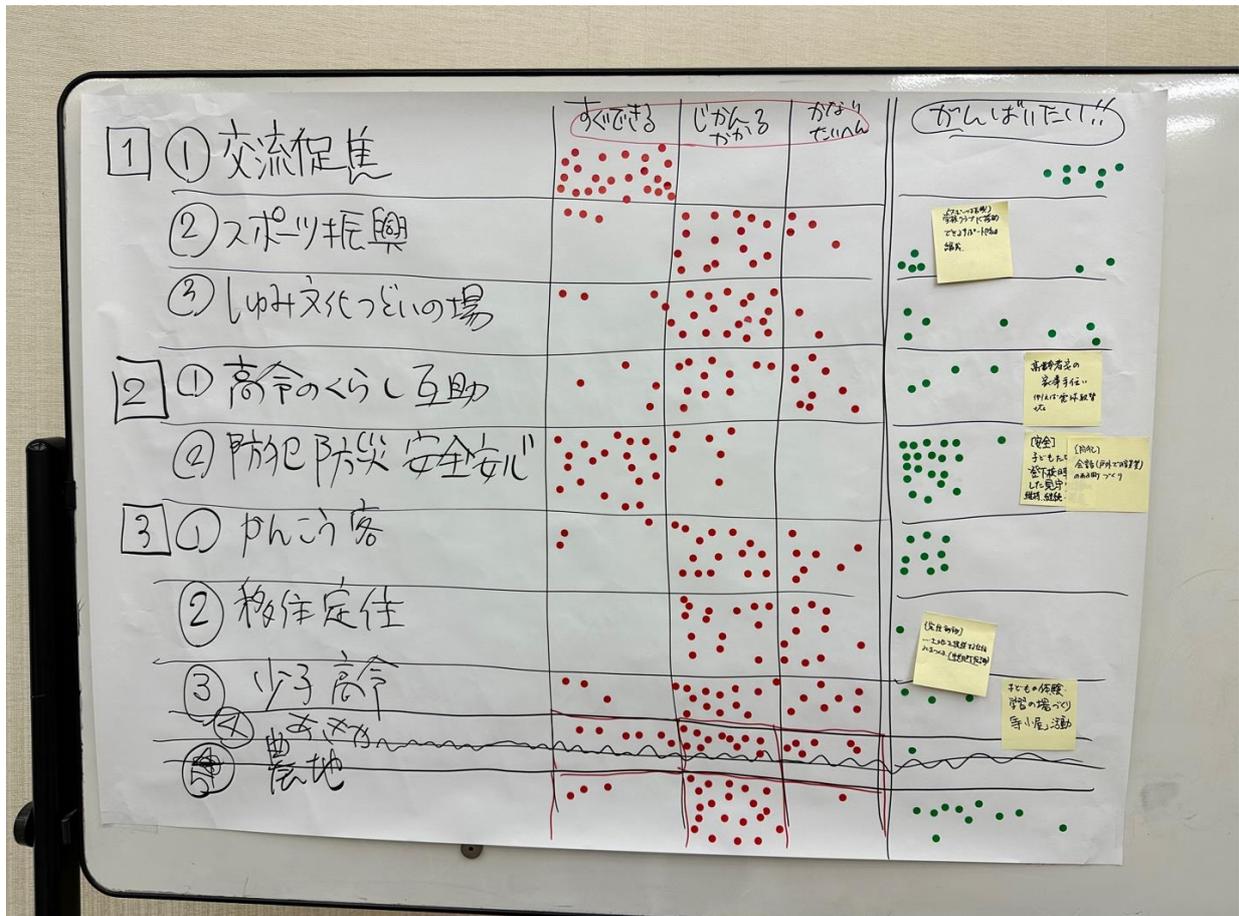
○ 作業の位置付け

- ① 比延の「よいところ」「わるいところ」をできるだけあげた。
 - ② あげた地域課題を「自助・共助・公助」の課題に分けた。
 - ③ 公助周辺の課題を解決しやすさと重要性で評価した。
 - ④ 課題解決のためのアイデアをたくさん出した。
 - ⑤ まちづくり計画のアイデアをたくさん出した。
 - ⑥ まちづくり計画素案に対する意見をたくさん出した。
まちづくり計画のキャッチコピーについてアイデアをたくさん出した。
- 今日ブラッシュアップしたまちづくり計画を確認し、実施時期についてみんなで考える。

3. まちづくり計画の進め方について

○ 10項目の実行時期について考える

- ① 「すぐできる」「時間がかかる」「かなりたいへん」に分類し、投票した (別紙)
自分ががんばりたい項目にシールを貼った。



比延地区第3次まちづくり計画（素案）

●基本的な考え方

みんなが住みたい暮らしたい夢があふれる比也野里

多くの人たちが、笑顔で交流できる比延であるといい

○交流の促進のための取組

多様な参加者を得るため、コミセンの交流プログラムを Facebook・Instagram で発信する

○地域内外の住民のスポーツ振興・健康増進の取組

比延地区のトレッキングコースを整備・充実化して健康づくりを促進する
地区内外から参加できる「比延地区登山クラブ」を作る

○趣味・文化・集い場形成の取組（コミセンでの活動企画）

比延地区大文化祭を開催する
子ども達が集えて楽しめるプログラムを企画・開催する
将棋教室を運営する（教え教えられる地域内カルチャーセンターの取組）
料理したジビエ料理を地区外に販売

多くの人々が、助け合いにより安心して暮らせる比延であるといい

○高齢者の暮らし支援・互助の取組

車を運転できない高齢者の移動を手助けする手段について考える

○防犯・防災・安心安全な地域づくりの取組

[防犯] 防犯カメラの増設を進める
[消防] 消防自動車の分団内での相互活用を進める

地域外の人たちが関わりを持ちたくなる元気な比延であるといい

○観光客の誘致・へそ公園等の活用

へそ公園一体を比延地区でプロモーションする（へそ公園の拡充は市に要望）

○移住・定住・若者の起業の促進

空き家を活用し移住者受け入れを進める
移住して起業したい人に場所を提供する仕組みをつくる

○少子・高齢・晩婚化対策

子育てに魅力あるまちづくり [ボランティア・塾（学習／ピアノ／そろばん）]
出会いの場づくり・お見合いパーティー等を開催する

○空き家の活用

空き家を有効活用する仕組みをつくる [取組主体]

○農業・農地の維持

休耕農地を利用して貸し農園を作る（野菜作り指導） | 町外及び若者に農地を貸す
竹林の整備 | 竹をチップにして肥料として活用する
野菜の無人販売所をつくる
比延地区の特産品を生み出す会を立ち上げる
（子育て支援策について西脇市にアピールしてもらう）

○地域内の移動手段を守る

JR 加古川線の利用促進について考える
むすブン・おりひめバスの利用を進める

①「すぐできる」「時間がかかる」「かなりたいへん」に分類し投票・「がんばりたい」にシールを貼る

多くの人たちが笑顔で交流できる地域となるために

	すぐできる	時間かかる	かなり大変	頑張りたい	
交流の促進のための取組					
地域内外の住民のスポーツ振興・健康増進の取組					<ul style="list-style-type: none"> ・学校クラブ（スポーツ振興）に援助できるサポート隊の編成 ・みんなで声をかけあって歩いて笑って元気を保つ
趣味・文化・集い場形成の取組（コミセンでの活動企画）					

みんなが助け合いにより安心して暮らせる地域となるために

	すぐできる	時間かかる	かなり大変	頑張りたい	
高齢者の暮らし支援 ・互助の取組					<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者宅の家事手伝い例えば電球取り替え etc。
防犯・防災・安心安全な地域づくりの取組					<ul style="list-style-type: none"> ・[安全] 子どもたちの登下校時中心とした見守り活動の維持、継続、発展

地域外の人たちも関わりたくなる元気な地域となるために

	すぐできる	時間かかる	かなり大変	頑張りたい	
観光客の誘致 ・へそ公園等の活用					<ul style="list-style-type: none"> ・[防犯] 会話（戸外での談笑）のある町づくり
移住・定住 ・若者の起業の促進					<ul style="list-style-type: none"> ・[定住移住] 土地を提供する仕組みを作る（中畑町住吉町）
少子・高齢 ・晩婚化対策					<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体験・学習の場づくり「寺子屋」活動
空き家の活用					
農業・農地の維持					

…1~8
 …9~14
 …15以上
 …1~8
 …9~14
 …15以上
 …なし

(8) 第8回ふるさと夢会議の記録 (令和5年5月13日 こみせん比也野)

1. 会長あいさつ
2. 比延地区第3次まちづくり計画 (ダイジェスト版) お披露目とチェック

①できあがったダイジェスト版をみんなで確認し、文言の修正などみんなでチェックした。

